

3学年シラバス 目次

学校シラバス.....
3学年（Iコース）シラバス.....

【Iコース共通】

現代社会.....
体育.....
コミュニケーション英語Ⅲ.....
英語表現Ⅱ.....
情報の科学.....
総合探究.....

【Iコース文系】

現代文B.....
古典B.....
世界史B.....
日本史B.....
数学Ⅱ・B.....
生物基礎.....

【Iコース理系】

現代文B.....
古典B.....
数学Ⅲ.....
数学Ⅱ.....
物理.....
化学.....
生物.....

学校シラバス

校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

本年度の努力目標

- 1 奉仕と思いやりの心を持つ
- 2 新校舎を大切に学ぼう
- 3 対策をして楽しもう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育、教科指導を計画的に推進し、学力の定着と向上を図り、生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスを作成し、生徒・保護者へ提示する。 2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し、幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。 3 卒業前の3年生に、学外からの出前講座、教員による校内講座を行い、幅広い教養を身に付ける。 4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。
国際理解教育を推進し、グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネイティブ教員によるTT授業で、英語の4技能の育成を図る。 2 課外講座で、英会話講座を実施して語学力の育成を図る。 3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に、ケンブリッジ大学・オーストラリア海外語学研修を実施する。(令和4年度は派遣中止)
自主的・主体的な学習への取り組みを通して、社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 自学室・自習室・サポート室を活用し、生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。 2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。 3 基礎学力到達度テスト対策に、春期特別授業を実施する。 4 大学進学に向けて、各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。 5 図書館を利用して、生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。
学校行事や課外活動を通して、人間的成長を促し、円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行を通して、団体行動や平和について学習する。 2 部活動を通して、心身を鍛え自主性や協調性を育成する。 3 文化祭などの学校行事を通して、自主性や創造性、協働性を身に付けるとともに、仲間との達成感を共有する。 4 芸術鑑賞会を通して、広く芸術に触れ、親しむ心を育成する。 5 身だしなみ向上週間の活動を通じて、自律心を育成する。
学校の安全管理を徹底するとともに、安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全計画、防災マニュアル(安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル)を実践する。 2 火災や地震を想定した避難訓練、および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。 3 地歴公民や保健体育の授業、ホームルーム活動を通じて、安全や健康について学習する。 4 交通安全教室、スマホ安全教室等を実施し、生徒の危機管理意識を育成する。

I コース3 学年 教育活動シラバス

月	指導内容等	指導のねらい
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期始業式・対面式 ・ ①進路希望調査 ・ 基礎学力到達度テスト ・ 個人面談 ・ 服装頭髪指導 ・ 登校指導・自転車安全教室 ・ 後援会紙上総会, 学級懇談会 ・ ①体育クラス強化部集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りと目標の設定 ・ 進路を考える「力」の育成 ・ 学力向上への啓蒙 ・ 精神面・生活面・学習面の個別指導・情報把握 ・ 規範意識の高揚 ・ 登校時の安全指導 ・ 保護者との連携 ・ 生徒の自律, 自覚指導
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実力診断テスト, 公務員模試 ・ 生徒総会 ・ ①参観授業 ・ 春の交通安全登校指導, 自転車点検 ・ 下宿訪問 ・ ①学校生活アンケート ・ 1 学期中間試験 ・ 身だしなみ向上週間 ・ ①英検 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の学習及び学力の定着確認 ・ 生徒会活動への自主的参加 ・ 授業の公開及び保護者との連携強化 ・ 登校時の安全指導 ・ 下宿生に対する生活指導 ・ 生徒の悩み等の把握 ・ 普段の学習及び学力の定着確認 ・ 自己管理の徹底 ・ 資格取得へのチャレンジ
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣替え, 身だしなみ向上週間 ・ ①献血 ・ ①漢検 ・ 進路ガイダンス『受験の心得』 ・ ②体育クラス強化部集会 ・ 1 学期期末試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己管理の徹底 ・ 公共心の涵養, ボランティア体験 ・ 資格取得へのチャレンジ ・ 進路を考える「力」の育成 ・ 生徒の自律, 自覚指導 ・ 普段の学習及び学力の定着確認
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期末試験 ・ 日大チャレンジ ・ アカシア祭 ・ 保護者対象進学説明会, 三者面談 ・ 1 学期終業式 ・ 夏季進学補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の学習及び学力の定着確認 ・ 〃 ・ 新たな自己の発見及びクラスメイトとの協働 ・ 保護者との連携及び生徒の状況把握 ・ 1 学期のまとめ ・ 1 学期の学習内容確認と学力の定着及び受験対策
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季進学補習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期の学習内容確認と学力の定着及び受験対策
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始業式 ・ 服装頭髪指導 ・ ③体育クラス強化部集会 ・ 校内日大模試 ・ 基礎学力到達度テスト ・ 大学入学共通テスト受験指導 ・ 面談日 ・ ②進路希望調査 ・ 生徒会役員選挙 ・ ②参観授業 ・ ②学校生活アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新学期スタート指導 ・ 規範意識の高揚 ・ 生徒の自律, 自覚指導 ・ 学力の定着確認及び受験対策, 進路を考える「力」の育成 ・ 保護者との連携及び生徒の受験指導 ・ 生徒会活動への積極的な参加 ・ 保護者との連携 ・ 生徒の悩み等の把握

	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の交通安全指導 ・校内運動会 ・②漢検 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時の安全指導 ・HR集団づくり ・資格取得へのチャレンジ
10	<ul style="list-style-type: none"> ・衣替え, 身だしなみ向上週間 ・面談日 ・②英検 ・2学期中間試験 ・芸術鑑賞会 ・グローバルイズムワークショップ(希望者) ・②献血 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の徹底 ・保護者との連携及び生徒の受験指導 ・資格取得へのチャレンジ ・普段の学習及び学力の定着確認 ・文化面及び情操面の教育 ・グローバル化に向けた行事への参加 ・公共心の涵養, ボランティア体験
11	<ul style="list-style-type: none"> ・学校型選抜入試対策 ・身だしなみ向上週間 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路を考える「力」の育成 ・自己管理の徹底
12	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ向上週間 ・2学期期末試験 ・学年集会 ・2学期終業式 ・クリスマスフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理の徹底 ・普段の学習及び学力の定着確認 ・規範意識, 卒業に向けた意識の高揚 ・2学期の総括 ・文化活動の発表体験
1	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・服装頭髪指導 ・④体育クラス強化部集会 ・③英検, ③漢検 ・学年集会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学期へのスタート指導 ・規範意識の高揚 ・生徒の自律, 自覚指導 ・資格取得へのチャレンジ ・規範意識, 卒業に向けた意識の高揚
2	<ul style="list-style-type: none"> ・予餞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生送別会
3	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の総括

科目	単位数	対象学年	対象クラス
現代社会	2	3 学年	I コース文・理共通

教科書名 高等学校 新現代社会 新訂版

副教材名 大学入試共通テスト対策 つかむ現代社会 (浜島書店)

1. 科目目標

- 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めることにより、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方、生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。
- 思想は歴史的背景と前時代の課題を受けて成立するものであり、先哲の思想を学ぶことで人間とは何か、自分はどうかあるべきかを深く探求する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	第1編 青年期と自己の形成 第1章 青年のあり方と現代 1 青年期と私たち	・内なる自分をしっかり見つめ、孤独感・劣等感など青年期特有の心理に関する理解を習得する。
	5	2 自分らしさとは何だろうか 3 現代社会と私たち 第2章 現代に生きる倫理 1 学びの源流 ギリシア哲学 1 学期中間試験	・学び続けることの意義を理解する。 ・青年期における人格の形成に大きく影響を及ぼす社会環境とは、家族や友人、学校だけでなく、読書やマスコミ、政治・経済や社会的価値観なども含む広範囲なものであることを理解する。
	6	2 私たちの生き方と宗教 3 中国の伝統思想 第3章 近・現代の社会と倫理 1 近代思想の形成 2 人間の自由と幸福 1 学期期末試験	・「知ること」「学ぶこと」の目的や探究・学習・研究の方法など、学びの基本を理解する。 ・先哲の思想や実践活動から生命の尊重、人間の尊厳、それらを基本原則とする民主社会のあり方について抽象的理論倒れにならぬよう具体的に理解する。
【課題・提出物】 期末試験後に授業ノート・ワークノート提出			
【第1学期の評価方法】 ①定期試験の成績 教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。 ②学習課題、および学習態度の平常点 (30%以内)			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	第2編 現代の民主政治と法 第4章 現代日本の政治機構と政治参加 1 国会の役割と仕組み 2 内閣と行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ・国会が国権の最高機関であると憲法に規定されているが、実際には地位が低下していること、国会中心の政治を展開するために必要なことを考察する。 ・日本国憲法における議院内閣制の意義や、内閣と内閣総理大臣の権限について理解する。 ・裁判制度については、三審制のしくみや最高裁判所の地位と権限を理解し、裁判員制度についての理解を深める。 ・経済をかたちづくる3つの部門の役割と機能について考察する。 ・市場機構によって解決できない問題など、具体例を通して理解する。 ・経済指標としての国民所得やGDP、および国民生活の豊かさを支えるフローとストックの意味を理解する。 ・金融に関する基礎知識及び、しくみを理解する。 ・マネーサプライと金融機関の意義を理解する。 ・財政のしくみや租税についての基礎知識を理解する。 ・資本主義経済のしくみとその特徴を理解する。 ・資本主義経済の発展と変容を、その矛盾を克服する試みとして登場した社会主義経済と比較しながら理解を深める。
	10	3 裁判所の役割 4 裁判と裁判員制度 2学期中間試験	
	11	第3編 現代の経済 第1章 経済社会とその仕組み 1 市場と経済主体 2 経済成長と景気変動 3 金融とその働き 4 財政とその働き 5 資本主義社会のしくみとその変容	
	12	2学期期末試験	
<p>【課題・提出物】 期末試験後に授業ノート・ワークノート提出</p> <p>【第2学期の評価方法】 ①定期試験の成績 教科書の範囲内の重要語句や語句を理解しているか出題する。 ②学習課題、および学習態度の平常点(20%以内)</p>			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	第2章 経済活動のあり方 1 日本経済のあゆみ 2 現代の企業とその課題	<ul style="list-style-type: none"> ・明治以降から現代にいたるまでの日本経済の発展過程を、それぞれの時期の特徴を踏まえて理解する。 ・企業のおかれている現状を理解し、企業の責任など、新しい問題への取り組みなどを考察する。

<p>【課題・提出物】 授業ノート・ワークノート提出</p>
<p>【第3学期の評価方法】 ○授業に対する意欲と関心</p>
<p>【年間の学習状況の評価方法】 ○総合評価は、学期末ごとに行う。総合成績には平常点が含まれる。 ○平常点は以下を踏まえて、20%以内とする。(1学期のみ30%以内) ①授業に対する意欲と関心 ②課題等への取り組み(宿題・レポート等) ③年数回のノート提出(板書事項・配布プリントの確認)</p>

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	現代社会に興味・関心を持ち、自ら進んで授業参加と、積極的な発言ができる。	○授業の様子 ○授業ノート
思考・判断	偏見を除き、公平・公正な立場から社会的判断を身につけることができる。	○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験
技能・表現	授業で得た知識をもとに、社会において必要な表現力を導き出すことができる。	○授業の様子 ○定期試験
知識・理解	授業内容を適切に理解し、教科者・用語集を読みこなすことができる。	○授業の様子 ○授業ノート ○定期試験

4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

<p>現代社会は時事問題などを例に挙げ、新聞やニュースで聞いたことのある内容も勉強し、卒業後に社会を生き抜く必要な知識が身につくよう、サポートしていきたい。</p> <p>苦手意識を持たずに積極的な授業参加を期待しているが、理解できなかったこと、疑問点があれば、どんどん質問に来てほしい。</p>
--

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	3	3	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育
 副教材名 現代高等保健体育ノート

1. 教科目標

- | |
|---|
| (1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身につける。
(2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。 |
|---|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	集団行動 ① 挨拶・集合・体形 ② 方向変換・列の増減 体づくりの運動 ① 体ほぐしの運動 ② 体力を高める運動	集団の一員として迅速に、かつ安全に行動する。 運動の楽しさ、心地よさを味わい、自他の心身の状態に気付きながら、運動によって心身ともに良好な状態にする。
	5	ソフトテニス	基礎的な技術を身につけ、ソフトテニスの特性に合った、ゲームを中心とした内容を主体的に進めるようにする。
	6	① オリエンテーション	フォアハンド、ロブを重点に習得させ、ラリー(乱打)ができるようにする。
	7	② グランドストローク (フォア・バック・ロブ)	サーブ&ボレーができるようにする。
		③ ボレー・スマッシュ	サーブが狙った場所へ打てるようにする。
		④ サービス	生徒の技量に合わせた内容で試合(簡易ゲーム含)を実施する。
		⑤ ルール	実施時間数に合わせ種目を選択する。
		⑥ ゲーム(簡易ゲーム・ダブルス)	生涯スポーツの選択肢としてソフトテニスも含まれるような基礎的知識、技術論を習得する。
		スポーツテスト(新体力テスト)	
		体育理論 ソフトテニスの特性・ルール・試合運営などを学ぶ	
【課題・提出物】 期末試験前後にソフトテニスに関するレポート・小テストを実施する。			
【第1学期の評価方法】 1. 実技試験の成績(50%) ①ソフトテニスに関する基礎技術を実施する。(グランドストローク、スマッシュ、サービス)			

<p>②スポーツテスト(新体力テスト)(10%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50m走、持久走、ハンドボール投げ、反復横とび、長座体前屈、握力、上体起こし、立ち幅跳び <p>※実施時間数によって上記種目から選択する。</p> <p>2. 総合評価(平常点)(40%)</p> <p>①学習課題、および学習態度の平常点</p>

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	<p>体づくりの運動</p> <p>① 体ほぐしの運動</p> <p>② 体力を高める運動</p>	<p>長期休業後の体力回復、怪我、病気等の予防を目的とする。特に柔軟・心肺機能の向上を目的とする。</p>	
	10	<p>選択種目</p>	<p>今まで学んできた球技を中心とした種目を、競技レベルに合わせた内容で、生徒が主体的となって授業を展開する。</p>	
	11	<p>サッカー・バレーボール・バスケットボール等</p>	<p>生涯スポーツにつながられるよう、多種にわたる種目を選択・実施する。</p>	
	12	<p>・ゲーム・簡易ゲーム形式中心で実施</p> <p>体育理論</p> <p>・実施する種目のルール・技術の知識の習得</p>	<p>実施する種目ごとに基礎的スキル、ルールについて知識を習得する。</p>	
<p>【課題・提出物】 期末試験前後に選択種目内から選び、レポート・小テストを実施する。</p>				
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>1. 実技試験の成績(60%)</p> <p>①主とする実施種目の過去のスキル評価表を基に評価する。</p> <p>注意：選択種目等により評価の違いが出ないように、教科会で審議の上、内容を決定する。</p> <p>2. 総合評価(平常点)(40%)</p> <p>①学習課題、および学習態度の平常点</p>				
	月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	1	<p>選択種目</p>	<p>授業を通じて仲間との協力、協調、楽しさや喜びを会得する。</p> <p>種目のルール、試合運営を学び、仲間と協力してゲームを進められるようにする。</p>	
	<p>【課題・提出物】 なし</p>			
	<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>1. 実技試験の成績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験は実施しない。(特別授業、実施時間数が少ないため) <p>2. 総合評価(平常点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習態度等に著しい変化がないかぎり、2学期までの総合評価を参照する。 			

【年間の学習状況の評価方法】

1 学期末と 2 学期末に進学用の仮評定を行う。
 学年末評定は 1 学期・2 学期・3 学期の実技の平均（60%）
 学習課題、および学習態度の平常点（40%）
 以上を総合的に判断して評価する。

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	欠席が少なく、授業への積極的参加ができる。 安全に配慮し主体的に取り組むことができる。 多様性を理解し仲間と協力することができる。 健康・安全に配慮した服装でできる。	観察
思考・判断	自己や仲間の状況に応じて体力向上を目的とした運動を継続できるような計画が工夫できる。 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。	観察
技能・表現	各運動の特性に応じ勝敗を競い合う、攻防が展開できる。 実施する種目の特性に応じ段階的な技能を身につけ、自分が表現したいことができる。	実技テスト 観察
知識・理解	選択した運動の技術（技）の名称やルールを学び、主体的に試合をすすめることができる。 簡易ゲーム、ミニゲームを運営し、審判などでゲームを進めることができる。	小テスト 観察

4. 学習サポート

実技科目の特性上、基本は授業内で実施をするが、必要性や状況に応じて対応をする。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
コミュニケーション英語Ⅲ	5	3	文系・理系

教科書名 Revised BIG DIPPER English Communication Ⅲ (数研出版)

副教材名 英語長文 Concerto No.1 Basic 入試基礎編 (いいずな書店)

英単語ターゲット 1200 (4訂版) (旺文社) Listening Platform 2 (いいずな書店)

1. 科目目標

- | |
|---|
| <p>① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。</p> <p>② 基礎学力到達度テストや大学入試等に意識を向けて、長文読解力を伸ばす。</p> |
|---|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4月	副教材 Concerto より Intro 2 Intro 3	<ul style="list-style-type: none"> 多くの長文読解に取り組み、読解力・速読力を身につける。 英単語の反復練習を行ない、音読を通して本文の内容や英文の構造を理解する 基礎学力到達度テストの長文読解を学習する。
	5月	Section 1	
	1 学期中間試験		
	6月	Section 2 Section 3 Section 4	<ul style="list-style-type: none"> 多くの長文読解に取り組み、読解力・速読力を身につける。 英単語の反復練習を行ない、音読を通して本文の内容や英文の構造を理解する 基礎学力到達度テストの長文読解を学習する。
	7月	Section 5	
	1 学期期末試験		
			■ 日大チャレンジ
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 休業期間中の課題 授業用ノート・プリント 			
<p>【1 学期の評価方法】</p> <p>定期試験素点：70%（1 学期中間試験・1 学期期末試験）</p> <p>平常点：30%（提出物・小テスト・授業態度）</p>			

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9月	Section 6	<ul style="list-style-type: none"> 多くの長文読解に取り組み、読解力・速読力を身につける。 英単語の反復練習を行ない、音読を通して本文の内容や英文の構造を理解する 基礎学力到達度テストの長文読解を学習する。 	
	10月	Section 7		
		Section 8		
		Section 9		
	2学期中間試験			
	11月	教科書より	<ul style="list-style-type: none"> 情報を追加および列挙する表現を身につける。 例を挙げる表現を身につける。 時間的順序を表す表現を身につける。 因果関係の表現を身につける。 対比の表現を身につける。 譲歩の表現を身につける。 	
		Lesson 2 Three Tips for Maintaining a Conversation		
		Lesson 3 Do You Judge people by Their Blood Types?		
		Lesson 5 The 55-Year Race		
	12月	Lesson6 After the Flowers		
Lesson8 <i>Kintsugi</i>				
Lesson9 Alfred Nobel: A Person of Peace				
2学期期末試験				
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> 休業期間中の課題 授業用ノート・プリント 				
【2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）				

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12月	Lesson 17	・語彙, 表現力を育成する。
	1月	The Shoe That Grows	
		【課題・提出物】 ・休業期間中の課題 ・授業用ノート・プリント 【3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）	
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（定期試験素点の平均点） 平常点：20%（平常点の平均点）			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	単元毎のテーマに関心を持ち, 自ら学習に取り組むことができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
思考・判断	単元毎のテーマに関して, 自ら考え, 自らの意見を持っている。	授業への参加姿勢
技能・表現	英語を用いて正しく単語・文法を書くことができる。また, 自分の意見を相手に伝えようとする。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
知識・理解	日本語訳に頼ることなく, 英語の内容を理解することができる。	小テスト 定期試験

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

受験に向けて『問題を解く→解説を聞く→復習する』のサイクルを大切に, 問題を解くために必要な知識をしっかりと身につける努力をしていきましょう。問題を解くために重要な単語と文法の知識をどこまで詰め込むことができるでしょうか。繰り返し復習することを習慣にし, 長文読解の問題に十二分に取り組めるようにしましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
英語表現Ⅱ	3	3	文系・理系

教科書名 Vision Quest English Expression II Hope

副教材名 スクランブル英文法・語法 Basic 3rd Edition

スクランブル英文法・語法 Basic 3rd Edition 準拠トレーニング問題集

入試複合型問題集 PATHFINDER

1. 科目目標

- ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
- ② 基礎学力到達度テストや大学入学共通テスト等に意識を向けて、単語や文法の力を伸ばす。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容		学習のねらい
1 学 期	4月	●スクランブル英文法	●PATHFINDER	<ul style="list-style-type: none"> 基本問題を通して、文法の反復練習を身につける。 基礎学力到達度テストの文法の知識問題を学習する。
		第1章 動詞・文型①	LESSON 01	
		第1章 動詞・文型②	LESSON 02	
	5月	第2章 時制	LESSON 03	
		第3章 受動態		
	1 学期中間試験			
	6月	第4章 助動詞	LESSON 04	<ul style="list-style-type: none"> 基本問題を通して、文法の反復練習を身につける。 基礎学力到達度テストの文法の知識問題を学習する。
		第5章 不定詞	LESSON 05	
		第6章 動名詞	LESSON 06	
	7月	第7章 分詞	LESSON 07	
1 学期期末試験				
		■日大チャレンジ		
<p>【課題・提出物】 ・休業期間中の課題 (Scramble トレーニング問題集/PATHFINDER)</p> <p>・授業用ノート・プリント</p>				
<p>【1学期の評価方法】</p> <p>定期試験素点：70% (1学期中間試験・1学期期末試験)</p> <p>平常点：30% (提出物・小テスト・授業態度)</p>				

	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9月	■校内日大模試 第8章 仮定法	・基礎学力到達度テストの文法の知識問題を身につける。	
	10月	第11章 関係詞		
		第13章 比較		
	11月	第9章 名詞・冠詞	2学期中間試験	
		第10章 代名詞		
		第12章 形容詞・副詞		
	12月	第14章 接続詞	・文法問題の実践力を身につける。	
第15章 前置詞				
2学期期末試験				
【課題・提出物】 ・休業中の課題（Scramble トレーニング問題集イディオム/会話表現/語彙） ・授業用ノート・プリント				
【2学期の評価方法】 定期試験素点：80%（2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）				
	月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	12月	第16章 疑問・否定	・文法問題の実践力を身につける。	
	1月	第17章 強調・倒置・省略		
	【課題・提出物】 ・授業用ノート・プリント			
	【3学期の評価方法】 定期試験素点：80%（1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験） 平常点：20%（提出物・小テスト・授業態度）			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80%（定期試験素点の平均点） 平常点：20%（平常点の平均点）				

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	自ら進んで授業に参加し、積極的に意見を述べることができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
思考・判断	論理的に物事を捉えることができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
技能・表現	話すこと・書くことを通して、自分の考えを正確に表現することができる。	授業への参加姿勢 小テスト 定期試験
知識・理解	文法を用いて英文を構成することができる。	小テスト 定期試験

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

文法は長文を読み解く際の大切な要素なので、基礎の復習を徹底して行ない、系統的に理解しましょう。

<p>【1学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 1学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに、タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20%とする。課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>			
	月	<p>学習内容</p> <p>学習のねらい</p>	
2 学 期	9	<p>➤ インターネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WWW について ● URL の概念 ● Web ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページが閲覧できる仕組みを知り， Web サイトを表す URL の構造や意味を理解する。 ・ Web ページを便利に利用するため， 検索サイトの構造や使用法について理解する。
	10	<p>➤ 情報セキュリティ 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不正アクセス ● ファイアウォール ● コンピュータウィルス ● スパイウェア 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを利用した犯罪や脅威について理解する。 ・ インターネットや情報を安全に利用できるような仕組みについて理解し， 安全な利用法について理解する。 ・ 不正なアクセスやなりすましなどから情報を守るセキュリティ技術について理解し， 安全に情報を管理し利用しようとする意識を持つ。
		<p>➤ 情報セキュリティ 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報の暗号化の仕組み ● 共通鍵暗号方式 ● 公開鍵暗号方式 ● 電子署名，ハイブリッド暗号方式 	
	11	<p>➤ 表計算ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表計算ソフトの基礎 ● 計算式 ● 基本の関数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く一般に利用されている表計算ソフトの使い方を理解し， 計算式や関数を使用して計算の自動化ができる。
	12	2学期期末試験	
<p>【課題・提出物】</p> <p>授業で配布する資料プリント， 授業ノート</p> <p>実技演習課題</p>			

	<p>【2学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 2学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに、タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20%とする。課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 表計算ソフト ● いろいろな関数 ● グラフ表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトで使用できる便利な関数について知識を深める。 ・グラフ作成の技術を身に付ける。
	<p>【課題・提出物】</p> <p>実技演習課題</p>		
	<p>【3学期の評価方法】</p> <p>① 1学期と2学期の学期末試験をあわせて評価する。</p>		
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>1学期末と2学期末の成績を統合して評価する。</p>			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	情報に関わる内容に興味を持ち、進んでタイピングやプログラミング等の実習に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングテスト ・プログラミング ・授業時の取り組み
思考・判断	モラルやセキュリティに興味を持ち、情報を正しく判断できる。 処理手順を理解し適切なプログラムを構築できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習課題 ・プログラムエラー処理
技能・表現	プログラミング、エラー処理等の一連の作業ができ、プログラムを動作させることができる。またブラインドタッチなどの技能を修得し、すばやい入力ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムエラー処理 ・実技演習課題
知識・理解	情報に関する知識や用語の意味を知り、適切に利用できる。また OS やアプリケーションソフトの使い方を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・実技演習課題

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ、ブラインドタッチに挑戦しましょう。 ・実技については、毎時間課題を課し、時間ごとの内容を確認するのでしっかり覚えましょう。
--

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
総合探究	1	3年生	全

教科書名 なし ※プリント学習
 副教材名 なし _____

1. 科目目標

- | |
|---|
| ① Use active learning to foster independent thinking in a group setting.
② Cooperate with class members to solve problems through discussion.
③ Present individual and group ideas in front of the class. |
|---|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Task 1 What' s cooking?	Instructing others Presenting in front of other people
	5	Task 2 Class Survey	Creating and conducting a survey Reporting and presenting findings
	6		
	7	GTEC Practice and Strategies	Practicing for the GTEC test
【課題・提出物】 N/A			
【1学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Task 3 My Prized Possession	Presenting individually about a possession, describing it and explaining why it is important to you
	10	Task 4 Nandemokantedan	Presenting an item to other groups Understand descriptions in order to choose wisely as a group
	11		
	12	Task 5 Work, Work, Work	Choosing the right person for an occupation through group discussion Stating reasons for opinions
		GTEC Practice and Strategies	Practicing for the GTEC test

	【課題・提出物】 N/A	
	【2学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher	
	月	学習内容
3 学 期	1	Task 6 Revitalizing Fukushima
		学習のねらい
		Designing a project to revitalize Fukushima Giving reasons and explaining ideas in a presentation
	【課題・提出物】 N/A	
	【3学期の評価方法】 Observation by homeroom teacher	
【年間の学習状況の評価方法】 Observation by homeroom teacher		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	Participation in group discussions	Observation by homeroom teacher
思考・判断	Sharing thoughts in presentations	Observation by homeroom teacher
技能・表現	Smoothness in presentation	Observation by homeroom teacher
知識・理解	Content of discussions and presentations	Observation by homeroom teacher

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

Try to speak only in English.
Say at least a few things in English every week.
Use a dictionary every lesson.
Try your best!

科目	単位数	対象学年	対象クラス
現代文 B	4	3 学年	I コース文系

教科書名 新編 現代文 B (数研出版)

副教材名 新編 現代文 B 準拠ワーク (数研出版)

大学入試国語頻出問題 1200 (いいずな書店)

現代文記述問題集 1 読解力習得編 (いいずな書店)

クリアカラー 国語便覧 (数研出版)

1. 科目目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともにものの見方や感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	4	○基礎学力到達度テスト演習 ○「大学入試国語頻出問題」小テスト 年間 12 回予定 ○「現代文記述問題集」 ※解説をして→週末課題 【基礎学力到達度テスト：4/21】 ○随想 須賀敦子「塩一トンの読書」	○時間を意識して問題を解く感覚を身につける。 ○「大学入試国語頻出問題」の小テストを通して、入試に必要な語彙力を身につける。 ○「現代文記述問題集」で記述問題の解き方を確認し、実際に問題を解いてみる。
	5	○評論 島村 輝「子どもの言葉」 【1 学期中間試験：5/23～】	○文章の展開と構造から筆者の主張を読み取る。比喩的な内容を具体的な表現を通して理解する方法を身に付ける。 ○子どもと大人、そして詩人の言葉の違いを考えることで、「言葉の力」を理解する。
	6	○評論 港 千尋「文化としての色」 ○小説 原田 ハマ「無用の人」	○色彩をテーマに論じた日本文化論に興味関心をもち、灰色について考察し積極的に肯定する筆者の意見を読み取る。茶の湯（日本文化）について理解を深める。 ○主人公が「父」から送られた「鍵」の意味を理解する過程を読み取り、主人公や「父」の美意識、主人公からみた「父」の人生について考える。
	7	【1 学期期末試験：6/28～】	
	【課題・提出物】 「大学入試国語頻出問題」「現代文記述問題集」「課題プリント」「小テスト」等		
	【1 学期の評価方法】 定期試験の素点に 30%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	○基礎学力到達度テスト演習 ○「大学入試国語頻出問題」小テスト ○「現代文記述問題集」 【基礎学力到達度テスト：9/20】 ○評論 上田 紀行 「内的成長」社会へ	○時間を意識して問題を解く感覚を身につける。 ○入試に必要な語彙力を身につける。 ○記述問題の解き方を確認し、実際に問題を解いてみる。
	10	○小説 山田詠美 「ひよこの眼」 【2学期中間試験：10/12～】	○言い換えに着目して読解し、筆者の主張を読み取る。 ○一人称回想形式の語りに留意し、謎とその解答の意味を読み取る。事故の現在について考える。 ○人物の置かれた状況や言動、風景描写など描かれるさまざまなものから心情を読み取る。
	11	○評論 岩井克人 「ホンモノのおカネの作り方」	○貨幣とそれを利用した経済活動の基本的な発送を学ぶ。逆説的な表現による論理展開の面白さを学ぶ。二項対立的な事象の提示による説明の明解さを学ぶ。
	12	○小説 中島敦「山月記」 【2学期期末試験：12/6～】	○言動から登場人物の性格と心情について考える。 ○文語、漢文訓読調の文章ではあるが、現代人の生き方や自我にも関わる問題としてとらえ、作品の主題について考える。
【課題・提出物】 「大学入試国語頻出問題」「現代文記述問題集」「課題プリント」「小テスト」等			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点に20%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12	○「大学入試国語頻出問題」総合問題 ○入試問題などの演習。	○確認テストを通じて獲得した語彙を確認する。 ○入試問題の演習を通して、一般入試に対応した学力を身に付ける。
	【課題・提出物】「プロGRESS」「小テスト」等 「大学入試国語頻出問題」「現代文記述問題集」「課題プリント」「小テスト」等		

【年間の学習状況の評価方法】

1～2 学期の定期試験の素点に 20%を上限とした平常点（3 学期分を含む）を加味して総合評価を付ける。

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	○授業に取り組む態度・姿勢 ・意欲的に授業・学習活動に取り組んでいるか。 ○学習課題への取り組み ・問題や問いに対して答えようとしているか。	○授業態度や学習活動への取り組み方 ○課題(ノート・その他)の提出状況
思考・判断	○筆者(作者)の考えや主張に対する理解状況 ・作品を読み、筆者(作者)の考えや主張を理解しているか。 ・情景描写等を基に人物の心情を理解しているか。 ・さまざまな語彙や表現技法等に注意しながら、本文の内容を理解しているか。	○学習活動への取り組み状況 ○課題(ワークシート等)やノートチェック ○定期試験・模試
技能・表現	○考えや感想をまとめる ・筆者(作者)の考えや主張を記述等で表現できるか。 ・自分の考えや感想を記述等で表現できるか。 ・短歌(31文字)を通じて、高校での思い出を心豊かに表現できるか。	○学習活動への取り組み状況 ○課題(ワークシート等)やノートチェック ○定期試験・模試 ○短歌への取り組み
知識・理解	○語彙力や表現力の活用・応用 ・「プログレス」等を活用し、さまざまな表現技法が身に付いているか。 ・「現代語練習帳ことのは」等を活用し、語彙力の向上に努めているか。	○定期試験・模試 ○小テスト ○学習活動への取り組み状況 ○課題(ワークシート等)やノートチェック

4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

- 忘れ物や課題の提出遅れ等のないように取り組むこと。
- <毎時間準備するもの> 教科書・ノート(配布プリント等)・辞書(電子辞書でも構いません)
- ※「プログレス」「国語便覧」・「現代語練習帳ことのは」必要に応じて適宜持参すること。
- 問題や問いに対して解決しようとする姿勢をもつこと。語彙力・表現力を向上し、さまざまな考え方や見方を身に付けながら基礎学力の定着を図ること。
- 主体的かつ意欲的に学習に取り組むこと。辞書・便覧等を使用し、調べて考えること。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
古典B	3	3	Iコース文系

教科書名 古典B (教育出版)

副教材名 必携これからの古典文法 (尚文出版) 古典文法練習ノート (尚文出版)

精選漢文 (尚文出版) 精選漢文ノート (尚文出版)

錬成古典 2+ (尚文出版) 大学入試 国語頻出問題1200 (いわずな書店)

1. 科目目標

- | |
|---|
| <p>① 古文と漢文を読むことを通して日本文化や日本文化に影響を与えた中国文化を学び、広い視野・多様な思考を育む。</p> <p>② 古人の考えを理解する。</p> <p>③ 文法や語彙、古典知識を学び、古典文学を読み解く力を身につける。</p> |
|---|

2. 学習計画及び評価方法

月	学習内容	学習のねらい
4	○ 基礎学力到達度テストに向けての演習授業(3~4)	○ 2年次における古典の語彙・文法・知識を確認する。
5	○ オリエンテーション(1)	○ 古典の学習の仕方、姿勢を確認する。
	○ 古文 歴史物語「大鏡」〈南院の競射〉(6)	○ 歴史物語を読み、描かれたエピソードや、登場人物の人間像を的確に捉える。
	○ 漢文 逸話「後漢書」〈糟糠之妻〉(4)	○ 敬語法に注意しながら鑑賞し、作品の価値を理解する。
	○ 漢文 逸話「後漢書」〈糟糠之妻〉(4)	○ 故事・逸話から故事成語の成り立ちを理解し、作品のおもしろみを味わう。
	○ 古典の演習(1~2) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」	○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。
	〈1学期中間試験〉	○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。
	○ 古文 評論「無名抄」〈俊成自讃歌のこと〉(4~5)	○ 和歌に関する評論を読み、作品の根底にある発想を知ること、作品を読解・鑑賞する力

6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢文 歴史「史記」〈勿頸之交〉(6) ○ 古典の演習(2～3) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」 	<p>を養うとともに、わが国の伝統と文化について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国の正史を学び、壮大な歴史や、人物関係、人物像に触れることで広い視野、多様な思想を育む。 ○ 長文の理解を通して漢文の表現に慣れ、語句や句型の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。 ○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。 ○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。
7	<p>〈1学期期末試験〉</p> <p>〈日大チャレンジ試験〉</p>	
<p>【課題・提出物】</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業ノート、古典文法練習ノート、精選漢文ノート、錬成古典2＋、その他課題プリント等。 ○ 小テストを実施する。 		
<p>【第1学期の評価方法】</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 2学期期末テストの点数に0.7を掛け、平常点を加えたものを評点とする。 ○ 平常点は課題や提出物の提出状況と小テストの点数、出席状況や授業態度を加味したものとし、最高は30点とする。 		
月	学習内容	学習のねらい
9	<p>〈校内日大模試〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古文 日記文学「蜻蛉日記」 〈鷹を放つ〉(6) ○ 古典の演習(4～5) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」 <p>〈基礎学力到達度テスト〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を的確に捉える。 ○ 日本文学における日記文学の価値を考察する。 ○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。 ○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢文 思想「韓非子」〈侵官之害〉(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 韓非子の思想について理解する。 ○ 思想の生まれた時代背景について理解を深

	<p>〈2学期中間試験〉</p> <p>○ 漢文 小説「搜神記」〈千日酒〉(6)</p> <p>○ 古文 随筆「枕草子」〈二月つごもりころに〉(5)</p> <p>○ 古典の演習(3～4) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」</p> <p>○ 漢文 文「埤田録」〈売油翁〉(4)</p> <p>〈2学期期末試験〉</p> <p>○ 漢文 史話「春秋左氏伝」〈宋襄の仁〉(3)</p> <p>○ 古文 和歌〈王朝の和歌〉(4～5)</p>	<p>め、韓非子の思想がわが国の文化や社会に与えた影響について考える。</p> <p>○ 六朝時代に始まった「志怪小説」について知り、中国の小説の流れに興味を持つ。</p> <p>○ 全体を起承転結に整理し、小説としての効果的な構成を理解する。</p> <p>○ 「枕草子」を読み、その自由な感性と文体の魅力にふれ味わうことによって、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。</p> <p>○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。</p> <p>○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。</p> <p>○ 唐宋八大家として著名な欧陽脩の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。</p> <p>○ 書き手や文章中の人物の、人間・社会・自然などに対する思想や感情を、間違いなく、過不足なく読み取る。</p> <p>○ 代表的な和歌を読み、人間・社会・自然などに対する心情を理解する。</p> <p>○ 和歌の修辞法を学ぶ。</p>
	<p>【課題・提出物】</p> <p>○ 授業ノート、古典文法練習ノート、精選漢文ノート、錬成古典2+、その他課題プリント等。</p> <p>○ 小テストを実施する。</p>	
	<p>【2学期の評価方法】</p> <p>○ 中間テストと期末テストの点数の合計を2で割り、その値に0.8を掛けた点数に、平常点を加えたものを評点とする。</p> <p>○ 平常点は、課題や提出物の提出状況と、確認テストの点数、出席状況や授業態度を加味したものとし、最高は20点とする。</p>	

月	学習内容	学習のねらい
1	〈王朝の和歌〉	○ 日本の伝統と文化について理解を深め、言語感覚を豊かにする。
【課題・提出物】		
○ 授業ノート、学習課題ノート、その他課題プリント等。		
【3学期の評価方法】		
○ 3学期は1年間のトータルの評価をする。		
【年間の学習状況の評価方法】		
○ 4回の定期テストの平均に0.8を掛けて出た値に平常点を加えたものを評点とし、評定を出す。		
○ 平常点は20点を最高とし、各学期の平常点の平均を年間平常点とする。		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	○ 授業に取り組む態度。 ・教材に興味を持って学習に取り組んでいるか。 ○ 課題への取り組み状況。 ・古典文学を理解するための努力をしているか。 ○ 課題の状況 ・積極的かつ、自発的に授業に臨んでいるか	○ 学習活動への参加姿勢や態度の観察。 ○ 提出物(内容、提出状況)やノート検査等。
思考・判断	○ 古典文法を応用しての、文意の理解状況。 ・古典文学を読み、内容を把握し、登場人物の心情を読み取り、作者の考え方を理解しているか。	○ 学習活動への参加姿勢や態度の観察。 ○ 提出物(内容、提出状況)やノート検査等。 ○ 定期テスト・模試。
技能・表現	○ 感想や意見をまとめる。 ・語彙や文法事項、古典知識に注意し、本文を読み、理解しているか。	○ 提出物(内容、提出状況)やノート検査等。 ○ 定期テスト・模試。
知識・理解	○ 古典文法等を理解し、応用できるか。 ・古典の基礎知識が身についているか。 ・古典文学を読むことで、広い視野や柔軟な思考を育むことができているか。	○ 定期テスト・模試。 ○ 学習活動への参加姿勢や態度の観察。

4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

○ 予習復習を怠らないこと。品詞分解や、辞書、ワークを使っての解法などを自主的に行い基礎学力の向上を計ること。
○ 主体的に学習に参加すること。古典分野への興味を持って学習し、自ら考え、学ぶ姿勢を持つこと。
○ 忘れ物をせず授業に臨むこと。
【古文の分野】…教科書・ノート・これからの古典文法・等
【漢文の分野】…教科書・ノート・精選漢文・等

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
世界史 B	4	3 学年	I コース文系

教科書名 詳説 世界史 B

副教材名 新詳世界史図説

世界史 B 用語集

詳説世界史スタンダードテスト

1. 科目目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解する。 ② 世界の歴史における文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察する。 ③ 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 |
|---|

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	(1) ラテンアメリカの独立 (2) アメリカ合衆国の領土拡大 (3) 南北戦争とその結果 (4) アメリカ合衆国の大国化 (5) 19世紀欧米の文化 (6) オスマン帝国支配の動揺 (7) オスマン帝国の改革	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀のアメリカ大陸の動きを理解する。 ・アジア諸国が改革に模索する様子を理解する。 ・ヨーロッパの進出に対するアジア諸国の外交・内政と、アジア同士の国際関係を理解する。 ・第2次産業革命の中、アジアにおける対応の様子を各地域の特色を踏まえ理解する。 ・「帝国主義の時代」が始まり、欧米諸国による世界分割が進むことを学ぶとともに、アジアにおける対応の様子を各地域の特色を踏まえ理解する。 ・辛亥革命の性格および成果について考察する。 ・移民先の変化を理解するとともに、後から合衆国に移住した人々の生活を調査・研究してみる。 ・太平天国を従来の反乱と対比して理解する。 ・ヨーロッパに対し、軍事的に劣勢に立たされたアジア諸国での民族運動の形成を理解する。 	
	5	(8) インドの植民地化 (9) インド大反乱 (10) 東南アジアの植民地化 (11) 清朝の動揺と欧米諸国の進出 (12) 清朝の動乱と近代化の始動 (13) 明治維新と東アジアの再編		
		1学期中間試験		
	6	(14) 帝国主義の成立 (15) 仏・独・露の帝国主義政策 (16) アメリカの帝国主義政策 (17) アフリカの植民地化 (18) 太平洋諸地域の分割 (19) 中国分割の危機 (20) 日露戦争と韓国併合 (21) 辛亥革命 (22) インドの民族運動 (23) 東南アジアにおける民族運動		

	6	演習 古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ世界 インドの古典文明・東南アジア 中国の古典文明 1 学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力試験に向けた問題演習を行い、問題を解く力をつける。
	【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> 授業中に配布するプリントの提出（定期試験時に提出） 		
	【第 1 学期の評価方法】 ① 定期試験の成績（70%） 知識・理解の確認を行う。基礎学力到達度試験をイメージした問題も出題する。 ② 授業態度・確認テスト・提出物などの評価〔=平常点〕（30%） <ul style="list-style-type: none"> 授業中に行う確認テストなどの結果で評価する。 授業態度・課題提出状況・授業プリントノート提出内容等を評価する。 		
	月	学習内容	学習のねらい
2 学期	9	演習① イスラーム世界の形成 演習② 西・東ヨーロッパ世界の成立 演習③ 東アジア世界（宋～元） 演習④ 東アジア世界（明～清） 演習⑤ トルコ・イラン世界 演習⑥ 大航海時代～宗教改革 演習⑦ 主権国家～近世ヨーロッパ 演習⑧ 近代ヨーロッパ・アメリカ 演習⑨ 欧米近代国民国家の展開 演習⑩ 総合問題 1 演習⑪ 総合問題 2 基礎学力到達度テスト 第 1 4 章 二つの世界大戦 （1）バルカン半島の危機 （2）第一次世界大戦 （3）ロシア革命・ソ連の成立 （4）ヴェルサイユ体制・ワシントン体制 （5）国際協調と西欧の停滞	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力試験に向けた演習を行い、問題を解く力をつける。
	10		<ul style="list-style-type: none"> バルカン情勢の複雑さを、列強の世界政策の対立および民族問題の面からも考察する。 第一次世界大戦に至る世界情勢と、大戦中に革命が開始するロシア情勢を理解する。 国際連盟の成立過程、および平和構築に向けての世界初の動きについて理解する。

<p>11</p> <p>12</p>	<p>(6) イタリアのファシズム (7) ソ連とアメリカ合衆国 (8) 予備 2学期中間試験</p> <p>(9) 第一次世界大戦と東アジア (10) 国民党と共産党 (11) インドにおける民族運動 (12) トルコ革命とアフリカの民族運動 (13) 世界恐慌 (14) 満州事変と日中戦争 (15) ナチスとヴェルサイユ体制の破壊 (16) ソ連のスターリン体制 (17) 第二次世界大戦(ヨーロッパ戦争) (18) 第二次世界大戦(太平洋戦争) (19) ファシズム諸国の敗北と終戦</p> <p>(20) 二次大戦後世界の秩序 (21) 米ソ冷戦の始まり (22) 中華人民共和国の成立 (23) 朝鮮戦争とアメリカ合衆国 (24) 西欧と日本の復興と「雪どけ」 (25) 第三世界の連携 (26) ラテンアメリカとキューバ革命 (27) ヨーロッパでの緊張緩和 (28) ベトナム戦争とインドシナ半島 (29) 国際経済体制のいきづまり (30) 先進国の社会変容 2学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦後のヨーロッパの様子を理解する。 ・アジアにおける第一次世界大戦後の様子や動きを理解する。 ・中国の民族運動の進展と、エジプトやアラビアの独立運動を理解する。 ・恐慌の原因と対策、日・独・伊枢軸国の結成の背景を理解する。 ・独ソ戦から太平洋戦争、戦後処理に至るまでの国際情勢を整理する。 ・国際連合は、米・英主導による連合国の平和機構として発足した点を認識する。 ・戦後の西欧と東欧諸国との体制や政治の違いを認識する。 ・アメリカとソ連の対立がエスカレートする過程を、具体的な出来事を踏まえて考察する。 ・冷戦はあくまでもヨーロッパのことであって、アジアでは朝鮮戦争のように熱い戦争になった事実を認識する。 ・なぜアジア・アフリカ諸国が第三勢力に結集したかを考察する。 ・世界が一体となりつながりが深くなった国際経済体制の問題を理解する。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布するプリントの提出（定期試験時に提出） 		

<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%) 知識・理解の確認を行う。基礎学力到達度試験をイメージした問題も出題する。</p> <p>② 授業態度・確認テスト・提出物などの評価〔=平常点〕(20%) ・授業中に行う確認テストなどの結果で評価する。 ・授業態度・課題提出状況・授業プリントノート提出内容等を評価する。</p>		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 (1) 東欧の民主化とソ連の解体 (2) 情報技術革命の進展 (3) 途上国の民主化 (4) 東欧・ロシアの地域紛争 (5) 中東・アジアの地域紛争 (6) 科学技術と現代思想・文化 (7) ~ (12) 映像教材を使用した学習 NHKスペシャル「映像の20世紀」	・冷戦終結後の世界について、政治・文化・経済等のグローバル化が、「アメリカ化」であることに反発がおこっていることを理解する。 ・冷戦の枠組みがはずれ、多極化するなかで頻発する地域紛争解決の難しさを理解する。 ・映像で残された歴史的出来事を見て、歴史的な出来事の本当の様子を考察する。 ・レポート提出で、理解と考察内容を確認する。
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布するプリントの提出(最後の授業日を提出日とする)</p>		
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>① 授業態度・確認テスト・提出物などの評価〔=平常点〕 ・授業中に行う確認テストなどの結果で評価する。 ・授業態度・課題提出状況・授業プリントノート提出内容等を評価する。</p>		
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <p>評価は、1学期期末・2学期中間・2学期期末ごとに行う。 年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する。</p>		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	世界史に興味関心を持ち、自ら進んで授業に参加し、積極的に自分の考えを明らかにできる。	・授業時の様子 ・授業用プリント
思考・判断	先入観にとらわれることなく、公正な立場から考察していくことができる。	・授業の様子 ・定期試験
技能・表現	授業で得た知識をもとに、歴史的事件の因果関係を解き明かすことができる。	・授業の様子 ・定期試験
知識・理解	授業内容を正確に理解し、教科書・用語集を読みこなすことができる。	・授業用プリント ・定期試験

4. 学習サポート(事前・事後学習等について)

随時、学習相談を実施するので、学習についての悩みや問題がある場合には、早めに解決しましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
日本史B	4	3学年	Iコース文系

教科書名 詳説日本史B 出版社名 山川出版社

副教材名 最新日本史図表(浜島書店) 新日本史要点ノート応用編(啓隆社)

1 科目目標

<p>①我が国の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察し、文化と伝統の特色について認識を深めるとともに、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。</p> <p>②戦争の多い近現代の学習を通して、歴史について自ら学ぶ態度や方法を習得し、歴史事象について公正に判断する思考力や理解力を身に付ける。</p>
--

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習上の注意点	
一 学 期	4	第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道	○商品経済の発展に伴い、封建社会の構造的な変化による動揺が こり、封建支配の危機に対し幕府・諸藩が行った改革の特徴を把 握する。 ○欧米列強のアジアへの進出と、寛政期以降わが国への外国船の接 近に対して幕府がとった行動から世界情勢の変化を考える。	
	5	第8章 幕藩体制の動揺 4. 化政文化 第9章 近代国家の成立 1. 開国と幕末の動乱	○文化の中心が江戸に移るとともに、庶民教育や出版文化が発達 したことを理解する。 ○諸外国の接近と日米和親条約・日米修好通商条約について、その 内容と日本の対応について理解する。	
	1 学期中間試験			
	6	第9章 近代国家の成立 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争 4. 日露戦争と国際関係	○征韓論争から自由民権運動を経て、大日本帝国憲法が成立するま での近代国家形成の過程を理解する。 ○日清戦争の契機となる東学党の乱の内容を把握する。 ○日清、日露戦争の勝利によって、わが国の軍備が強大化していく 過程を理解する。	
	7	5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達	○官営工場から発展した軽工業中心の産業革命がさらに進展し、綿 製品の輸出量が急増したことを理解する。 ○美濃部達吉や吉野作造など、いわゆる大正デモクラシー思想を具 体的に理解する。	
	【課題・提出物】		①授業ノートの提出(定期試験時などに提出) ②基礎学力到達度テストの問題演習 ③夏期休業中の課題	
	【第1学期の評価方法】1学期期末試験		①定期試験の成績(70%)：進研学力テスト、大学共通テスト、基礎学力到達度テストの傾向を意 識して出題する。 ②平常点(30%)：学習への取り組み状況(課題プリント、ノート、レポート、夏季休業中の課題) や授業への姿勢など。	

	月	学習内容	学習上の注意点	
二 学 期	7	第 10 章 二つの世界大戦とアジア 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制	○東アジアをとり巻く帝国主義列強間の領土分割競争に、わが国が参入し、国際的立場を強めていく過程を理解する。 ○日本の帝国主義的膨張に対して、中国や朝鮮では民衆に根ざした反帝国主義運動が展開されていたことを理解する。	
	9	3. 市民文化の変容と大衆文化 4. 恐慌の時代	○ワシントン体制が、日本の中国侵略の独走に対する英米からの制約であったことを理解する。 ○大正から昭和初期の文化の特色は、大衆文化の発展にあったことを理解させ、プロレタリア文学運動が起こった背景についても考察する。	
	10	5. 軍部の台頭 第 10 章 二つの世界大戦とアジア 6. 第二次世界大戦	○金融恐慌から満州事変を経て華北分離工作に至る過程を、政党政治と軍部の動向に着目しながら理解する。 ○満州事変前後から軍部政権樹立をめざすファシズム運動が成長し、五一五事件により政党内閣時代の終焉をむかえたことを学ぶ。 ○第二次世界大戦の過程を、日本国内の動きとともに、朝鮮・中国・東南アジア諸国への侵略について理解する。また、広島・長崎への原爆投下に関する資料を用いて認識を深める。	
	2 学期中間試験			
	11	第 11 章 占領下の日本 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和 第 12 章 高度成長の時代	○日本占領から日本国憲法成立までの過程を、民主化の動きに着目しながら、戦後改革や戦後政治の推移について理解する。 ○冷戦の開始から国際連合加盟までの過程を、戦後政治の推移と新たな国際関係の成立に着目しながら理解する。	
	12	1. 55 年体制 2. 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1. 経済大国への道	○55年体制の自民党と社会党の対立はについて、その時代背景や世界情勢をふまえて考察する。 ○高度経済成長の進展について、政治・外交の動きとともに、高度経済成長の功罪、国際貢献のあり方などについて考察する。 ○ニクソンショックから現在に至るまでの過程を、政治・外交の動きとともに、国際貢献のあり方などに着目して、現代世界の動向と日本の課題と役割についての理解を深める。	
	【課題・提出物】 授業ノートの提出（定期試験時などに提出）			
	【第2学期の評価方法】 2 学期期末試験 ①定期試験の成績（80%）：進研学力テスト、大学共通テストの傾向を意識して出題する。 ②平常点（20%）：学習への取り組み状況（課題プリント、ノート、レポート）や授業への姿勢。			
	三 学 期	1	2. 冷戦の終結と日本社会の変容	○冷戦に至る原因を復習し、終結までの世界情勢を理解する。

3 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究すると共に、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしているか。	学習活動への取組み 課題の提出状況 ノートの内容
思考・判断	わが国の歴史の展開から課題を見出し、世界史的・多角的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	レポートの内容 定期試験
技能・表現	わが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有効な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けると共に、その過程や結果を適切に表現する。	定期試験 レポート 発表の内容や方法
知識・理解	わが国の歴史の展開について基本的な事柄を世界的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。	定期試験 小テスト

4 学習サポート

- 活発な発言や質問を通して、積極的に日本史の授業に参加してほしい。「なぜ」・「どうして」という疑問をふくらませ、歴史的視点から考える習慣が身につくと、日本史の学習が楽しくなる。
- 歴史は、過去の出来事にすぎないと思われるかもしれないが、その内容は他教科の学習内容と関連しており、世界で現在起こっている様々な出来事とも密接に結び付いている。授業だけにとらわれることなく、新聞やニュースを見たり聞いたりして、できるだけ興味や関心を広げましょう。
- 歴史の学習は、暗記中心と思われるかもしれないが、授業はもちろんだが、過去の歴史を通して、自分自身の生き方やあり方を歴史的な視点から見つめ直すことが大切である。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ	3	3学年	Iコース文系

教科書名 改訂版 新編 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ 数学Ⅰ+A・Ⅱ+B (数研出版)

1. 科目目標

- ・基礎学力到達度テストに対応できる学力を身につける。
- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・自発的な学習ができるような授業を展開し、家庭学習の確保に努める。
- ・高校数学の良さを理解し、多様な物の見方ができる人材となるような授業を展開する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [2] 基礎学力到達度テスト(4/21)	基礎学力到達度テストの類題などで対策を行い、 しっかり解けるような学力を身につける。
	5	基礎学力到達度テスト(9月) に向けた演習	教科書や問題集、基礎学力到達度テストの類題な どを用いて公式や解法の確認などを行い、基本か ら標準レベルまではしっかり解けるような知識 や学力を身に付ける。
		実力診断テスト(5/9)	
	6	1学期中間試験(5/23～26) 1学期中間まで【12】	
基礎学力到達度テスト(9月) に向けた演習			
7	1学期期末試験(6/29～7/2) 1学期期末まで【12】		
	日大チャレンジ(7/15)		
【課題・提出物】 プリント課題・春季課題			
【第1学期の評価方法】 定期試験の成績(70%)・・・1学期中間試験・1学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(30%)・・・プリント課題・春季課題の提出状況进行评估する。			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	基礎学力到達度テスト(9月)対策 [6] 基礎学力到達度テスト(9/22)	基礎学力到達度テストの類題などを用いて対策を行い、基本から標準レベルまではしっかり解けるような知識や学力を身に付ける。
	10	高校数学総復習 2学期中間試験(10/11~14) 2学期中間まで【11】	進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。
	11	高校数学総復習	
	12	2学期期末試験(12/5~8) 2学期期末まで【19】	
【課題・提出物】 プリント課題・夏季課題			
【第2学期の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・2学期中間試験・2学期期末試験(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・2学期までの課題の提出状況进行评估する。			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12 1	検定試験等を含めた総合演習 特別授業(1/12~19)	多様な物の見方ができる人材となるような教養や知識を身に付ける。
	【課題・提出物】 プリント課題・春季課題・夏季課題		
【第3学期の評価方法】 3学期は1年間のトータルの評価をする。			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・3学年時の定期試験の計4回(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・3学期までの課題の提出状況进行评估する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元の内容に関心をもち、積極的に授業へ参加し、課題などにも意欲的に取り組むことができる。	授業態度 課題の取り組み方
思考・判断	各単元での抽象的内容を正しく捉え、その過程を多面的・発展的に考えることができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
技能・表現	各単元に応じた数学的な表現に対する処理の方法を身に付け、適切に扱うことができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
知識・理解	各単元の内容を正しく理解し、定理などを体系的に整理することができる。	課題の取り組み方 確認カード 定期試験

4. 学習サポート

1 学年から積み重ねてきた知識の集大成となる。1 学年，2 学年の数学で解らない部分は，早い時期に復習するなど，教科担当の先生と相談しながら対策していきましょう。授業中の理解も同様に，少しでも疑問に思う部分は担当の先生に早めに質問し，授業についていけるよう努力していきましょう。諦めたらそこで終了となる。更なる自己の成長のため，諦めずに最後まで頑張りましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学B	2	3学年	Iコース文系

教科書名 改訂版 新編 数学I・A・II・B (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ 数学I+A・II+B (数研出版)

1. 科目目標

- ・基礎学力到達度テストに対応できる学力を身につける。
- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・自発的な学習ができるような授業を展開し、家庭学習の確保に努める。
- ・高校数学の良さを理解し、多様な物の見方ができる人材となるような授業を展開する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [1] 基礎学力到達度テスト(4/21)	基礎学力到達度テストの類題などで対策を行い、 しっかり解けるような学力を身につける。
	5	基礎学力到達度テスト(9月) に向けた演習	教科書や問題集、基礎学力到達度テストの類題な どを用いて公式や解法の確認などを行い、基本か ら標準レベルまではしっかり解けるような知識 や学力を身に付ける。
		実力診断テスト(5/9) 1学期中間試験(5/23～26) 1学期中間まで【8】	
	6	基礎学力到達度テスト(9月) に向けた演習	1学期期末試験(6/29～7/2) 1学期期末まで【8】
7	日大チャレンジ(7/15)		
【課題・提出物】 プリント課題・春季課題			
【第1学期の評価方法】 定期試験の成績(70%)・・・1学期中間試験・1学期期末試験の計2回。 課題提出物等の平常点(30%)・・・プリント課題・春季課題の提出状況进行评估する。			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	基礎学力到達度テスト(9月)対策 [4] 基礎学力到達度テスト(9/22)	基礎学力到達度テストの類題などを用いて対策を行い、基本から標準レベルまではしっかり解けるような知識や学力を身に付ける。
	10	高校数学総復習	進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。
	11	高校数学総復習	
	12	2学期期末試験(12/5~8) 2学期期末まで【21】	
【課題・提出物】 プリント課題・夏季課題			
【第2学期の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・2学期期末試験(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・2学期までの課題の提出状況进行评估する。			

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12 1	検定試験等を含めた総合演習 特別授業(1/12~19)	多様な物の見方ができる人材となるような教養や知識を身に付ける。
	【課題・提出物】 プリント課題・春季課題・夏季課題		
【第3学期の評価方法】 3学期は1年間のトータルの評価をする。			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・3学年時の定期試験の計4回(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・3学期までの課題の提出状況进行评估する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元の内容に関心をもち、積極的に授業へ参加し、課題などにも意欲的に取り組むことができる。	授業態度 課題の取り組み方
思考・判断	各単元での抽象的内容を正しく捉え、その過程を多面的・発展的に考えることができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
技能・表現	各単元に応じた数学的な表現に対する処理の方法を身に付け、適切に扱うことができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
知識・理解	各単元の内容を正しく理解し、定理などを体系的に整理することができる。	課題の取り組み方 確認カード 定期試験

4. 学習サポート

1 学年から積み重ねてきた知識の集大成となる。1 学年，2 学年の数学で解らない部分は，早い時期に復習するなど，教科担当の先生と相談しながら対策していきましょう。授業中の理解も同様に，少しでも疑問に思う部分は担当の先生に早めに質問し，授業についていけるよう努力していきましょう。諦めたらそこで終了となる。更なる自己の成長のため，諦めずに最後まで頑張りましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
生物基礎	2	3 学年	I コース文系

教科書名 生物基礎 (啓林館)

副教材名 スクエア最新図説生物 (第一学習社) セミナー生物基礎 (第一学習社)

スタディアップノート生物基礎 (数研出版)

1. 科目目標

1. 「生物」の面白さを知る

「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを知る。

2. 客観的な視点を育む

「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。

3. 探究心・言語表現力を育む

「生物」で学ぶ内容は、自分自身のからだや生活、社会と密接に関わるものが多い。このため、教科書に加えて新聞記事などを利用し、知識や理解をさらに深める。また、生命倫理に関する問題などについては、ディベートやレポートを通して言語表現力を育む。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 5 6	第4部 生物の多様性と生態系 第1章 多様な植生と遷移 1. 植物と環境のかかわり 2. さまざまな植生 3. 植生の遷移 第2章 気候とバイオーム 1. バイオーム 1学期中間試験 [8時間] 第3章 生態系とその保全 1. 生態系の成り立ち 2. 物質の循環とエネルギー 1学期期末試験 [8時間]	第4部 生物の多様性と生態系 【植生の多様性と分布・気候とバイオーム】 植生について、その構造や遷移のしくみについて学習する。さらに、地球上にはさまざまなバイオームが見られ、バイオームの分布は、気温と降水量によって決まることを理解する。 【生態系とその保全】 生態系の成り立ち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習する。その上で、生態系はそのバランスが保たれていること、人類は生態系のバランスに大きな影響を与えていることなどを理解する。

<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答して、提出する 			
<p>【第1学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験の成績（70%） 学習態度及び提出物（30%） 			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	7	3. 生態系のバランスと保全	生態系に関する調べ学習 絶滅危惧種や特定外来生物に関するレポートを作成し、レポートの作成方法や探究方法を学ぶとともに、現在の生態系に関する知見を深める。またその後、グループワークを行い、ポスター作製・発表を通して、表現する方法を学習する。
	9	生態系に関する調べ学習	
	10	1. 絶滅危惧種レポート作成 2. 特定外来生物レポート作成 3. 絶滅危惧種もしくは特定外来生物に関するグループ発表	
	11	2学期中間試験 [9時間] 生命の起源と進化	3学期に鑑賞する「地球大進化」への理解を深めるため、地球の誕生から人類の出現、また進化のしくみについて学習する。
	12	2学期期末試験 [11時間]	
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験ごとにセミナー生物基礎の指定された問題を解答して、提出する 絶滅危惧種、特定外来生物に関するレポート 問題冊子(進化)の提出 			
<p>【第2学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験の成績（80%） 学習態度及び提出物（20%） 			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	地球大進化（DVD）鑑賞およびレポート作成 3学期期末試験 [6時間]	地球大進化 地球の誕生から人類の繁栄までを映像で学習し、我々はどのように進化して現在の形態や生活様式を獲得してきたのか、その過程について理解を深める。また、レポート作成を通して科学的に考察し表現する方法を学習する。
	<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球大進化に関するレポート 		
<p>【第3学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習態度及び提出物（100%） 			
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の成績は、学年末に各学期の成績を総合して評価する 			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	・授業時の様子 ・課題提出 ・定期テスト
思考・判断	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえられる。	・授業時の様子 ・課題提出 ・定期テスト
技能・表現	・生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、それを表現することができる。	・授業時の様子 ・課題提出 ・定期テスト
知識・理解	・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけている。	・授業時の様子 ・課題提出 ・定期テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時、学習相談を実施する。 ・ 授業内容と問題集の橋渡しとして、單元ごとに演習プリントによる演習を行う。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
現代文 B	3	3 学年	I コース理系

教科書名 新編 現代文 B (数研出版)

副教材名 新編 現代文 B 準拠ワーク (数研出版)

大学入試国語頻出問題 1200 (いいずな書店)

現代文記述問題集 1 読解力習得編 (いいずな書店)

クリアカラー 国語便覧 (数研出版)

1. 科目目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともにものの見方や感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	4	○基礎学力到達度テスト演習 ○「大学入試国語頻出問題」小テスト 年間 12 回予定 ○「現代文記述問題集」 ※解説をして→週末課題 【基礎学力到達度テスト：4/21】 ○随想 須賀敦子「塩一トンの読書」	○時間を意識して問題を解く感覚を身につける。 ○「大学入試国語頻出問題」の小テストを通して、入試に必要な語彙力を身につける。 ○「現代文記述問題集」で記述問題の解き方を確認し、実際に問題を解いてみる。
	5	○評論 島村 輝「子どもの言葉」 【1 学期中間試験：5/23～】	○文章の展開と構造から筆者の主張を読み取る。比喩的な内容を具体的な表現を通して理解する方法を身に付ける。 ○子どもと大人、そして詩人の言葉の違いを考えることで、「言葉の力」を理解する。
	6	○評論 港 千尋「文化としての色」 ○小説 原田 ハマ「無用の人」	○色彩をテーマに論じた日本文化論に興味関心をもち、灰色について考察し積極的に肯定する筆者の意見を読み取る。茶の湯（日本文化）について理解を深める。 ○主人公が「父」から送られた「鍵」の意味を理解する過程を読み取り、主人公や「父」の美意識、主人公からみた「父」の人生について考える。
	7	【1 学期期末試験：6/28～】	
	【課題・提出物】 「大学入試国語頻出問題」「現代文記述問題集」「課題プリント」「小テスト」等		
	【1 学期の評価方法】 定期試験の素点に 30%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	○基礎学力到達度テスト演習 ○「大学入試国語頻出問題」小テスト ○「現代文記述問題集」 【基礎学力到達度テスト：9/20】 ○評論 上田 紀行 「内的成長」社会へ	○時間を意識して問題を解く感覚を身につける。 ○入試に必要な語彙力を身につける。 ○記述問題の解き方を確認し、実際に問題を解いてみる。
	10	○小説 山田詠美 「ひよこの眼」 【2学期中間試験：10/12～】	○言い換えに着目して読解し、筆者の主張を読み取る。 ○一人称回想形式の語りに留意し、謎とその解答の意味を読み取る。事故の現在について考える。 ○人物の置かれた状況や言動、風景描写など描かれるさまざまなものから心情を読み取る。
	11	○評論 岩井克人 「ホンモノのおカネの作り方」	○貨幣とそれを利用した経済活動の基本的な発送を学ぶ。逆説的な表現による論理展開の面白さを学ぶ。二項対立的な事象の提示による説明の明解さを学ぶ。
	12	○小説 中島敦「山月記」 【2学期期末試験：12/6～】	○言動から登場人物の性格と心情について考える。 ○文語、漢文訓読調の文章ではあるが、現代人の生き方や自我にも関わる問題としてとらえ、作品の主題について考える。
【課題・提出物】 「大学入試国語頻出問題」「現代文記述問題集」「課題プリント」「小テスト」等			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点に20%を上限とした平常点（課題・提出物・小テスト・授業態度等）を加味して、学期末ごとに総合評価を付ける。			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	12	○「大学入試国語頻出問題」総合問題 ○入試問題などの演習。	○確認テストを通じて獲得した語彙を確認する。 ○入試問題の演習を通して、一般入試に対応した学力を身に付ける。
	【課題・提出物】「プロGRESS」「小テスト」等 「大学入試国語頻出問題」「現代文記述問題集」「課題プリント」「小テスト」等		

【年間の学習状況の評価方法】

1～2学期の定期試験の素点に20%を上限とした平常点（3学期分を含む）を加味して総合評価を付ける。

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	○授業に取り組む態度・姿勢 ・意欲的に授業・学習活動に取り組んでいるか。 ○学習課題への取り組み ・問題や問いに対して答えようとしているか。	○授業態度や学習活動への取り組み方 ○課題（ノート・その他）の提出状況
思考・判断	○筆者（作者）の考えや主張に対する理解状況 ・作品を読み、筆者（作者）の考えや主張を理解しているか。 ・情景描写等を基に人物の心情を理解しているか。 ・さまざまな語彙や表現技法等に注意しながら、本文の内容を理解しているか。	○学習活動への取り組み状況 ○課題（ワークシート等）やノートチェック ○定期試験・模試
技能・表現	○考えや感想をまとめる ・筆者（作者）の考えや主張を記述等で表現できるか。 ・自分の考えや感想を記述等で表現できるか。 ・短歌（31文字）を通じて、高校での思い出を心情豊かに表現できるか。	○学習活動への取り組み状況 ○課題（ワークシート等）やノートチェック ○定期試験・模試 ○短歌への取り組み
知識・理解	○語彙力や表現力の活用・応用 ・「プログレス」等を活用し、さまざまな表現技法が身に付いているか。 ・「現代語練習帳ことのは」等を活用し、語彙力の向上に努めているか。	○定期試験・模試 ○小テスト ○学習活動への取り組み状況 ○課題（ワークシート等）やノートチェック

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

○忘れ物や課題の提出遅れ等のないように取り組むこと。

<毎時間準備するもの> 教科書・ノート（配布プリント等）・辞書（電子辞書でも構いません）

※「プログレス」「国語便覧」「現代語練習帳ことのは」必要に応じて適宜持参すること。

○問題や問いに対して解決しようとする姿勢をもつこと。語彙力・表現力を向上し、さまざまな考え方や見方を身に付けながら基礎学力の定着を図ること。

○主体的かつ意欲的に学習に取り組むこと。辞書・便覧等を使用し、調べて考えること。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
古典B	2	3	Iコース理系

教科書名 古典B (教育出版)

副教材名 必携これからの古典文法 (尚文出版) 古典文法練習ノート (尚文出版)

精選漢文 (尚文出版) 精選漢文ノート (尚文出版)

錬成古典 2+ (尚文出版) 大学入試 国語頻出問題1200 (いづな書店)

1. 科目目標

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 古文と漢文を読むことを通して日本文化や日本文化に影響を与えた中国文化を学び、広い視野・多様な思考を育む。 ② 古人の考えを理解する。 ③ 文法や語彙、古典知識を学び、古典文学を読み解く力を身につける。 |
|--|

2. 学習計画及び評価方法

月	学習内容	学習のねらい
4	○ 基礎学力到達度テストに向けての演習授業(2～3)	○ 2年次における古典の語彙・文法・知識を確認する。
5	○ オリエンテーション(1)	○ 古典の学習の仕方、姿勢を確認する。
	○ 古文 歴史物語「大鏡」〈南院の競争〉(6)	○ 歴史物語を読み、描かれたエピソードや、登場人物の人間像を的確に捉える。 ○ 敬語法に注意しながら鑑賞し、作品の価値を理解する。
6	○ 古典の演習(1～2) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」 〈1学期中間試験〉	○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。 ○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。
	○ 漢文 歴史「史記」〈刎頸之交〉(6)	○ 中国の正史を学び、壮大な歴史や、人物関係、人物像に触れることで広い視野、多様な思想を育む。 ○ 長文の理解を通して漢文の表現に慣れ、語句や句型の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。

7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典の演習(1～2) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」 〈1学期期末試験〉 〈日大チャレンジ試験〉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。 ○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業ノート、古典文法練習ノート、精選漢文ノート、錬成古典2＋、その他課題プリント等。 ○ 小テストを実施する。 		
<p>【第1学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期期末テストの点数に0.7を掛け、平常点を加えたものを評点とする。 ○ 平常点は課題や提出物の提出状況と、小テストの点数、出席状況や授業態度を加味したものとし、最高は30点とする。 		
月	学習内容	学習のねらい
9	<ul style="list-style-type: none"> 〈校内日大模試〉 ○ 古文 日記文学「蜻蛉日記」 〈鷹を放つ〉(6) ○ 古典の演習(3～4) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を的確に捉える。 ○ 日本文学における日記文学の価値を考察する。 ○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。 ○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。
10	<ul style="list-style-type: none"> 〈基礎学力到達度テスト〉 〈2学期中間試験〉 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢文 小説「捜神記」〈千日酒〉(6) ○ 古文 随筆「枕草子」〈二月つごもりころに〉(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 六朝時代に始まった「志怪小説」について知り、中国の小説の流れに興味を持つ。 ○ 全体を起承転結に整理し、小説としての効果的な構成を理解する。 ○ 「枕草子」を読み、その自由な感性と文体の魅力にふれ味わうことによって、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。

12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典の演習(2～3) 「古典文法練習ノート」 「精選漢文ノート」 (2学期期末試験) ○ 漢文 史話 「春秋左氏伝」〈宋襄の仁〉(3) ○ 古文 和歌〈王朝の和歌〉(3～4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古文・漢文の語彙・文法・知識の確認をしながら演習を行う。 ○ 演習を通して実践的な読解方法を身につける。 ○ 書き手や文章中の人物の、人間・社会・自然などに対する思想や感情を、間違いなく、過不足なく読み取る。 ○ 代表的な和歌を読み、人間・社会・自然などに対する心情を理解する。 ○ 和歌の修辞法を学ぶ。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業ノート、古典文法練習ノート、精選漢文ノート、錬成古典2＋、その他課題プリント等。 ○ 小テストを実施する。 		
<p>【2学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中間テストと期末テストの点数の合計を2で割り、その値に0.8を掛けた点数に、平常点を加えたものを評点とする。 ○ 平常点は、課題や提出物の提出状況と、確認テストの点数、出席状況や授業態度を加味したものとし、最高は20点とする。 		
月	学習内容	学習のねらい
1	〈王朝の和歌〉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統と文化について理解を深め、言語感覚を豊かにする。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業ノート、錬成古典2＋、その他課題プリント等。 		
<p>【3学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3学期は1年間のトータルの評価をする。 		
<p>【年間の学習状況の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4回の定期テストの平均に0.8を掛けて出た値に平常点を加えたものを評点とし、評定を出す。 ○ 平常点は20点を最高とし、各学期の平常点の平均を年間平常点とする。 		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業に取り組む態度。 ・ 教材に興味を持って学習に取り組んでいるか。 ○ 課題への取り組み状況。 ・ 古典文学を理解するための努力をしているか。 ○ 課題の状況 ・ 積極的かつ、自発的に授業に臨んでいるか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動への参加姿勢や態度の観察。 ○ 提出物（内容、提出状況）やノート検査等。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典文法を応用しての、文意の理解状況。 ・ 古典文学を読み、内容を把握し、登場人物の心情を読み取り、作者の考え方を理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動への参加姿勢や態度の観察。 ○ 提出物（内容、提出状況）やノート検査等。 ○ 定期テスト・模試。
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感想や意見をまとめる。 ・ 語彙や文法事項、古典知識に注意し、本文を読み、理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提出物（内容、提出状況）やノート検査等。 ○ 定期テスト・模試。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典文法等を理解し、応用できるか。 ・ 古典の基礎知識が身についているか。 ・ 古典文学を読むことで、広い視野や柔軟な思考を育むことができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期テスト・模試。 ○ 学習活動への参加姿勢や態度の観察。

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ○ 予習復習を怠らないこと。品詞分解や、辞書、ワークを使っての解法などを自主的に行い基礎学力の向上を計ること。 ○ 主体的に学習に参加すること。古典分野への興味を持って学習し、自ら考え、学ぶ姿勢を持つこと。 ○ 忘れ物をせず授業に臨むこと。 <p>【古文の分野】…教科書・ノート・これからの古典文法・等</p> <p>【漢文の分野】…教科書・ノート・精選漢文・等</p>

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅲ	6	3学年	Iコース理系

教科書名 改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ 数学Ⅲ (数研出版)

1. 科目目標

- ・基礎学力到達度テストに対応できる学力を身につける。
- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・自発的な学習ができるような授業を展開し、家庭学習の確保に努める。
- ・高校数学の良さを理解し、多様な物の見方ができる人材となるような授業を展開する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい（□はチェックリスト）
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [4] <u>基礎学力到達度テスト(4/21)</u> 第2章 式と曲線 [17] 第1節 2次曲線(10) 放物線 楕円	基礎学力到達度テストの類題などで対策を行い、しっかり解けるような学力を身につける。 平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用する。 □焦点、準線から放物線の方程式を求めることができる。 □放物線の方程式から、概形をかき、焦点、準線を求めることができる。 □楕円の方程式から、概形をかき、焦点、長軸・短軸の長さを求めることができる。 □焦点、焦点からの距離から楕円の方程式を求めることができる。 □軌跡の考えを利用して、条件を満たす楕円の方程式を求めることができる。
	5	双曲線 <u>実力診断テスト(5/9)</u> 2次曲線の平行移動	□双曲線の方程式から、概形をかき、焦点、頂点、漸近線の方程式を求めることができる。 □焦点や漸近線などから双曲線の方程式を求めることができる。 □平行移動後の曲線の方程式や焦点などを求めることができる。 □ x 、 y の2次方程式を変形して、その方程式が表す図形を考察することができる。

	<p>2次曲線と直線</p> <p>(研究) 2次曲線の接線の方程式</p> <p>第2節 媒介変数表示と極座標(7) 曲線の媒介変数表示</p> <p>極座標と極方程式</p> <p style="text-align: center;">1学期中間試験(5/23~26) 1学期中間まで【20】</p> <p>第5章 微分法 [12] 第1節 導関数(6) 微分係数と導関数</p> <p>導関数の計算</p> <p>第2節 いろいろな関数の導関数(6) いろいろな関数の導関数</p>	<p><input type="checkbox"/> 2次曲線と直線の位置関係を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2次曲線の接線や接点を、2次方程式の実数解を利用して求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 公式を利用して2次曲線の接線の方程式を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 媒介変数表示された曲線を、媒介変数を消去した式で表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 2次曲線を、媒介変数を用いて表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 媒介変数表示された曲線を平行移動して得られる曲線の方程式を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 極座標から直交座標、直交座標から極座標を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 円や直線を極方程式で表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 直交座標で表された方程式を極方程式で表すことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 極方程式を直交座標に関する方程式で表すことができる。</p> <p>関数の積・商、合成関数、三角関数、指数関数・対数関数の導関数について理解し、それぞれの導関数の導関数の解法を身につける。</p> <p><input type="checkbox"/> 微分係数の図形的意味、微分可能性と連続性の関係について理解できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 導関数の定義に従って微分することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 積、商の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 合成関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 逆関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 指数が有理数である関数を微分できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 三角関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 対数関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 指数関数の導関数を求めることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 対数微分法を利用して、複雑な関数を微分することができる。</p>
--	---	---

<p>7</p>	<p>第 n 次導関数</p> <p>曲線の方程式と導関数</p> <p>第 6 章 微分法の応用 [11]</p> <p>第 1 節 導関数の応用(8)</p> <p>接線の方程式</p> <p>平均値の定理</p> <p>関数の値の変化</p> <p>関数のグラフ</p> <p>1 学期期末試験(6/29~7/2)</p> <p>1 学期期末まで【20】</p> <p>日大チャレンジ(7/15)</p>	<p>□第 2 次導関数, 第 3 次導関数を求めることで, 第 n 次導関数を予想して求めることができる。</p> <p>□方程式 $F(x, y) = 0$ を関数とみて, 合成関数の導関数を利用して微分することができる。</p> <p>□媒介変数 t で表された関数の導関数を, t の関数として表すことができる。</p> <p>導関数を用いていろいろな曲線の接線の方程式, いろいろな関数の値の増減, 極大・極小, グラフの凹凸や概形を調べながら, それらを事象の考察に活用する。</p> <p>□公式を利用して, 接線の方程式や法線の方程式を求めることができる。</p> <p>□傾きや通る点から接線の方程式を求めることができる。</p> <p>□$F(x, y) = 0$ で表された曲線の方程式を, 陰関数の微分法を利用して求めることができる。</p> <p>□平均値の定理とその図形的意味を理解し, 具体的に c の値を求めることができる。</p> <p>□関数の極値を求めることができる。</p> <p>□関数の極値が与えられたとき, 必要十分条件に注意して関数を決定することができる。</p> <p>□関数の最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>□第 2 次導関数を利用して, 変曲点の座標を求めることができる。</p> <p>□関数の増減, 凹凸, 変曲点, 漸近線, 定義域, $x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態などを調べてグラフをかくことができる。</p> <p>□第 2 次導関数を利用して極値を求めることができる。</p>
<p>【課題・提出物】</p> <p>テーマ問題集の課題・春季課題</p>		
<p>【第 1 学期の評価方法】</p> <p>定期試験の成績(70%)・・・1 学期中間試験・1 学期期末試験の計 2 回。</p> <p>課題提出物等の平常点(30%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題の提出状況を評価する。</p>		

	月	学習内容	学習のねらい (□はチェックリスト)
2 学 期	9	<p style="text-align: center;">スタディーサポート(9/2)</p> <p>第6章 微分法の応用 第2節 いろいろな応用(3) 方程式, 不等式への応用</p> <p>速度と加速度</p> <p>基礎学力到達度テスト対策演習 [10]</p> <p style="text-align: center;">基礎学力到達度テスト(9/22)</p> <p>第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分(7) 不定積分とその基本</p>	<p>□導関数を利用して, 不等式を証明することができる。</p> <p>□方程式 $f(x) = a$ の実数解の個数をグラフなど利用しながら求めることができる。</p> <p>□媒介変数表示された点の座標から, 直線上や平面上を運動する点の速度, 加速度を導関数, 第2次導関数を利用して求めることができる。</p> <p>基礎学力到達度テストの類題などを用いて対策を行い, 基本から標準レベルまではしっかり解けるような知識や学力を身に付ける。</p>
	10	<p>置換積分法と部分積分法</p> <p>いろいろな関数の不定積分</p> <p style="text-align: center;">2学期中間試験(10/11~14)</p> <p style="text-align: center;">2学期中間まで【21】</p> <p>第2節 定積分(9) 定積分とその基本性質</p> <p>置換積分法と部分積分法</p>	<p>積分法についての理解を深めるとともに, その有用性を認識し, 事象の考察に活用する。</p> <p>□不定積分の定義や性質を理解し, それを利用して x^p, 三角関数, 指数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>□被積分関数の形の特徴から, 置換積分法を利用して不定積分を求めることができる。</p> <p>□被積分関数の形の特徴から, 部分積分法を利用して不定積分を求めることができる。</p> <p>□分数関数を割り算や部分分数分解することで, 不定積分を求めることができる。</p> <p>□三角関数の公式を利用して, 不定積分を求めることができる。</p> <p>□定積分の定義や性質を理解し, それを利用して様々な関数の定積分の計算ができる。</p> <p>□絶対値を含む関数の定積分が面積を表していることを理解し, その計算ができる。</p> <p>□置換積分法において, 積分区間の変換に注意しながら定積分の計算ができる。</p>

11	定積分のいろいろな問題	<input type="checkbox"/> 積分区間が原点対象のときの偶関数，奇関数の定積分の計算ができる。 <input type="checkbox"/> 定積分の部分積分法を理解し，それを利用して様々な関数の定積分が計算できる。 <input type="checkbox"/> 上端，下端が x である定積分を x の関数とみて，導関数によって x の関数を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 特別な形をした数列の和の極限を，区分求積法を利用して定積分を計算することができる。 <input type="checkbox"/> 不等式に現れる式の図形的意味を考えると，定積分を利用して不等式の証明ができる。
11	第3節 積分法の応用(12)	<input type="checkbox"/> 直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。
	面積	<input type="checkbox"/> 媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を，置換積分の考えで計算して求めることができる。
	体積	<input type="checkbox"/> 立体の断面積を積分することで，体積を求めることができる。
	道のり	<input type="checkbox"/> x 軸や y 軸を軸とする回転体の断面が円になることを理解し，回転体の体積を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 数直線上を運動する点の座標や道のりを，定積分を用いて求めることができる。
	曲線の長さ	<input type="checkbox"/> 媒介変数表示された平面上の点の座標から，道のりを定積分を用いて求めることができる。 <input type="checkbox"/> 媒介変数表示された関数を，定積分を利用して曲線の長さを求めることができる。
12	2学期期末試験(12/5~8)	<input type="checkbox"/> $y = f(x)$ から定積分を用いて，曲線の長さを求めることができる。
	2学期期末まで【33】	
【課題・提出物】		
テーマ問題集の課題・夏季課題		
【第2学期の評価方法】		
定期試験の成績(80%)・・・2学期中間試験・2学期期末試験(期末時は年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況を評価する。		

	月	学習内容	学習のねらい (□はチェックリスト)
3 学 期	12	高校数学総復習	進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。 大学入学後もしっかり授業についていけるような学力を身に付ける。
	1	大学数学への準備 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">特別授業(1/12~19)</div>	
	【課題・提出物】 テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題		
【第3学期の評価方法】 3学期は1年間のトータルの評価をする。			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・3学年時の定期試験の計4回(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況の評価する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元の内容に関心をもち、積極的に授業へ参加し、課題などにも意欲的に取り組むことができる。	授業態度 課題の取り組み方
思考・判断	各単元での抽象的内容を正しく捉え、その過程を多面的・発展的に考えることができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
技能・表現	各単元に応じた数学的な表現に対する処理の方法を身に付け、適切に扱うことができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
知識・理解	各単元の内容を正しく理解し、定理などを体系的に整理することができる。	課題の取り組み方 確認カード 定期試験

4. 学習サポート

1 学年から積み重ねてきた知識の集大成 t。1 学年， 2 学年の数学で解らない部分は，早い時期に復習するなど，教科担当の先生と相談しながら対策していきましょう。授業中の理解も同様に，少しでも疑問に思う部分は担当の先生に早めに質問し，授業についていけるよう努力していきましょう。諦めたらそこで終了となります。更なる自己の成長のため，諦めずに最後まで頑張りましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅱ	2	3学年	Iコース理系

教科書名 改訂版 新編 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ (数研出版)

副教材名 基本と演習テーマ 数学Ⅰ+A・Ⅱ+B・Ⅲ (数研出版)

1. 科目目標

- ・基礎学力到達度テストに対応できる学力を身につける。
- ・知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な考え方（論理的思考）を身につける。
- ・自発的な学習ができるような授業を展開し、家庭学習の確保に努める。
- ・高校数学の良さを理解し、多様な物の見方ができる人材となるような授業を展開する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい（□はチェックリスト）
1 学 期	4	基礎学力到達度テスト対策 [2] <u>基礎学力到達度テスト(4/21)</u>	基礎学力到達度テストの類題などで対策を行い、 しっかり解けるような学力を身につける。
	5	≪数学Ⅲ≫ 第1章 複素数平面 [17] 複素数平面 <u>実力診断テスト(5/9)</u> 複素数の極形式 <u>1学期中間試験(5/23～26)</u> 1学期中間まで【8】	複素数平面について理解し、それらを事象の考察 に活用する。 <input type="checkbox"/> 複素数を座標平面上の点として図示するこ ができる。 <input type="checkbox"/> 複素数の絶対値を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 複素数の和、差を座標平面上の点として図示す ことができる。 <input type="checkbox"/> 複素数平面上の2点間の距離を求めることが できる。 <input type="checkbox"/> 共役複素数の性質を利用して、様々な問題を解 くことができる。 <input type="checkbox"/> 複素数を極形式で表すことができる。 <input type="checkbox"/> 極形式で表された複素数の積、商を絶対値と偏 角を用いて計算することができる。 <input type="checkbox"/> 複素数の乗法が、原点からの線分の伸縮および 原点を中心とした回転であることを理解し、ど の点に移動したかを求めることができる。 <input type="checkbox"/> 複素数平面上の点を、原点のまわりに回転移動 した点の複素数を求めることができる。

6	ド・モアブルの定理	<input type="checkbox"/> ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 複素数の n 乗根の定義と図形的意味を理解し、極形式を利用して n 乗根を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 線分の内分点、外分点や三角形の重心を表す複素数を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 複素数の方程式を満たす点の動きから、どのような図形を描くかを考察することができる。 <input type="checkbox"/> 半直線のなす角を、複素数の計算によって角度を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 一直線上または垂直という条件から、複素数を求めることができる。
	複素数と図形	
7	(研究) 3点の位置関係	
	1学期期末試験(6/29~7/2)	
	1学期期末まで【8】	
	日大チャレンジ(7/15)	
【課題・提出物】		
テーマ問題集の課題・春季課題		
【第1学期の評価方法】		
定期試験の成績(70%)・・・1学期中間試験・1学期期末試験の計2回。		
課題提出物等の平常点(30%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題の提出状況进行评估する。		

月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	基礎学力到達度テスト対策 [4]	基礎学力到達度テストの類題などを用いて対策を行い、基本から標準レベルまではしっかり解けるような知識や学力を身に付ける。 進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。
	基礎学力到達度テスト(9/22)	
	高校数学総復習	
	2学期期末試験(12/5~8)	
	2学期期末まで【19】	
【課題・提出物】		
テーマ問題集の課題・夏季課題		
【第2学期の評価方法】		
定期試験の成績(80%)・・・2学期期末試験(年間評価)		
課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況进行评估する。		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	高校数学総復習	進学後も必要となる内容の定着・発展できる知識や学力を身に付ける。 大学入学後もしっかり授業についていけるような学力を身に付ける。
		大学数学への準備 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">特別授業(1/12~19)</div>	
	【課題・提出物】 テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題		
【第3学期の評価方法】 3学期は1年間のトータルの評価をする。			
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績(80%)・・・3学年時の定期試験の計3回(年間評価) 課題提出物等の平常点(20%)・・・テーマ問題集の課題・春季課題・夏季課題の提出状況の評価する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	各単元の内容に関心をもち、積極的に授業へ参加し、課題などにも意欲的に取り組むことができる。	授業態度 課題の取り組み方
思考・判断	各単元での抽象的内容を正しく捉え、その過程を多面的・発展的に考えることができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
技能・表現	各単元に応じた数学的な表現に対する処理の方法を身に付け、適切に扱うことができる。	授業態度 確認カード 課題の取り組み方 定期試験
知識・理解	各単元の内容を正しく理解し、定理などを体系的に整理することができる。	課題の取り組み方 確認カード 定期試験

4. 学習サポート

1学年から積み重ねてきた知識の集大成です。1学年、2学年の数学で解らない部分は、早い時期に復習するなど、教科担当の先生と相談しながら対策していきましょう。授業中の理解も同様に、少しでも疑問に思う部分は担当の先生に早めに質問し、授業についていけるよう努力していきましょう。諦めたらそこで終了となります。更なる自己の成長のため、諦めずに最後まで頑張りましょう。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
物理	5	3	Iコース理系

教科書名 改訂 物理 (東京書籍)

副教材名 ニューグローバル物理基礎+物理 (東京書籍)

1. 教科目標

1. 物理に対する興味関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。
3. 物理の学習を通じて、主体的に学び続ける姿勢と、他者と協働して学習する態度を身に付ける。

学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。

また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	6 気体分子の運動と圧力	マクロな法則、気体の状態方程式を理解する。 気体の分子運動から圧力の導出を理解する
		7 気体の状態変化	
	5	2 熱機関と熱力学第2法則	熱機関について理解する。 正弦波を表す式について学ぶ。 ホイヘンスの原理について理解する。
		1 波の性質	
	6	2 波の伝わり方	反射の法則、屈折の法則を理解する。 (対策問題をGWの課題とする。)
		実力診断テスト	ドップラー効果について理解する。
		2 音	反射・屈折の法則について理解する。
		3 光の性質	分散・散乱・偏光について理解する。
		1学期中間試験	レンズの性質、レンズによる像について学ぶ。
		4 光の回折と干渉	ヤングの干渉実験、回折格子、薄膜による干渉について理解する。
	1	1 電場	クーロンの法則について学ぶ。
		2 電場	電界の概念を理解し、電界の合成や電界から電荷が受ける力について学ぶ。
3 電位		電位の概念を理解し、点電荷による電位や一様な電界における電位について理解する。	
4 コンデンサー		コンデンサーが充電する電荷、たくわえるエネルギーについて学ぶ。 コンデンサーの並列接続、直列接続について学ぶ。	

		2 電流	1 電流 2 直流回路	電流の定義やオームの法則の復習をする。 キルヒホッフの法則を用いて複雑な回路について解析をする。
		1学期期末試験		
		【課題・提出物】 ・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグロール		
		【第1学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 (ニューグローバルの取り組み, 授業に対する意欲・積極性)		
	月	学習内容		学習のねらい
2 学 期	7	2 電流	非線形抵抗	電球などの非線形抵抗について理解する。
	8	夏季進学補習 基礎学対策, 一般入試対策演習		既習事項の復習。 基礎学力到達度テストに向けた実践演習。
	9	基礎学力到達度テスト対策実践演習 基礎学力到達度テスト		
	10	3 電流と磁場	1 磁気力と磁界 2 電流がつくる磁場	電場と比較しながら磁場を理解する。 電流のつくる磁界のようすを学ぶ。
		2学期中間試験	3 電流が磁場から受ける力	磁界が電流におよぼす力について学ぶ。
			4 ローレンツ力	運動する荷電粒子が磁場から受ける力について理解する。
		4 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則 2 磁界中を運動する導体の棒 3 自己誘導と相互誘導 4 交流	ファラデーの電磁誘導の法則を理解する。 磁界中を運動する導体棒に生じる誘導起電力について理解する。 自己誘導、相互誘導、コイルがたくわえるエネルギーについて理解する。 交流が発生する仕組みを電磁誘導の法則から理解する。
	11	1 電子と光	5 電気振動と電磁波	交流における抵抗、コンデンサー、コイルのはたらきについて理解する。 振動回路、共振、電磁波の発生とその性質について理解する。
			1 電子の電荷と質量	陰極線の性質について理解する。 ミリカンの実験について理解する。
		2 原子・原子核・素粒子	2 光の粒子性	光電効果について理解し、光量子仮説について考える。
			3 X線 4 粒子の波動性	X線の波動性と粒子性について理解する。 波動と粒子の二重性について理解する。
	12		1 原子モデル 2 放射線と原子核	ボーアの原子モデルから量子条件について理解する。 放射線の性質と原子核の崩壊について理解する。

		3 原子核反応 4 素粒子と宇宙	質量とエネルギーの等価性について理解する。 核分裂と核融合について理解する。 素粒子の分類、性質について理解する。
	2 学期期末試験		
	【課題・提出物】 ・確認テストおよびALリフレクションシート ・ニューグローバル ・長期休業中課題		
	【第2学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	一般入試対策演習	一般入試レベルの物理に触れる。 一般入試で合格できる実力を養成する。
		【課題・提出物】 ・確認テストおよびALリフレクションシート ・冬期休業中課題	
		【第3学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)	
	【年間の学習状況の評価方法】 定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・ 態度	・自然現象に関心をもち、科学的な見方をしているか。 ・授業に意欲的に参加し、論理的に探究しようとする態度が見えるか。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・演習プリントへの取り組み
思考・判断	・さまざまな物理現象を論理的に考察・分析し、その本質を原理や法則から説明できるか。	・グループ活動への取り組み ・定期試験の思考・応用問題 ・演習プリントへの取り組み
技能・表現	・グループ活動において、物理の法則や原理、課題の解法についての的確に表現する方法を習得しているか。 ・課題や実験のレポートにおいて、的確に表現する方法を習得しているか。	・ALの振り返りシート ・定期試験の記述解答
知識・理解	・学習活動を通して、さまざまな自然現象の背景には原理や法則があることを理解できたか。 ・自然現象を定量的に考察するため、物理的な概念や法則を正しく理解できたか。	・定期考査の知識・理解に関する問題 ・ALの確認テスト

4. 学習サポート

<p>1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度を身につけましょう。</p> <p>2. 物理法則の導出過程を大切に、論理的な思考力を高めよう。</p> <p>3. クループ活動・討論をしながら、学び合い・教え合う姿勢を身につけましょう。</p> <p>4. 繰り返し演習に取り組み、徹底して基礎を定着させましょう。</p> <p><定期試験に向けて></p> <p>1. 演習プリントで基礎の確認。(教科書、授業プリントの見直し)</p> <p>2. ニューグローバルを2～3周。</p> <p><基礎学力到達度テストに向けて></p> <p>1. ニューグローバルでしっかり復習。</p> <p>2. 過去問題で実践演習。テスト形式で行い、自己採点をして解き直し。</p>
--

科目	単位数	対象学年	対象クラス
化学	5	3	理系クラス

教科書名 化学 新訂版 (実教出版)

副教材名 インプレス化学基礎ノート・インプレス化学ノート(浜島書店)

とってもやさしい化学(旺文社)

ビーライン化学基礎 2022・ビーライン化学 2022 (第一学習社)

1. 科目目標

- ① 化学的な物事、現象に関する基本的な原理、法則、語句の意味を理解し、身の回りの物事、現象を化学的に探求する方法を身につける。
- ② 日本大学基礎学力到達度テスト、共通テスト、一般入試に向けた学力を構築する。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	2章2節 化学反応と電気エネルギー 1. 電池	<ul style="list-style-type: none"> 電池は、外部から加えられた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。 電池の反応に関与した変化量と電気量との関係を理解する。 電池は酸化還元反応により電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解する。 電流を流した際、陽極と陰極でどのような反応が起こっているのか、電子を用いた式で表す学習をする。 電気分解の量的関係が求める学習をする。
	5	2章4節 化学平衡 1. 可逆反応と化学平衡	<ul style="list-style-type: none"> 反応には、正反応と逆反応、可逆反応と不可逆反応があることを学習する。 化学平衡とはどのような状態か理解する。 化学平衡(質量作用)の法則と平衡定数、固体が関係する反応の平衡定数を求める力を育成する。 圧平衡定数と濃度平衡定数の関係性について学習する。 平衡移動とルシャトリエの原理について学習する。
		2. 平衡移動	<ul style="list-style-type: none"> 濃度変化, 圧力変化, 温度変化, 触媒を加えたとき, 反応に関与しない物質を加えたときの平衡の移動方向が言える力を育成する。
		3. 平衡移動と化学工業	<ul style="list-style-type: none"> ハーバーボッシュ法を例にとり、化学工業と化学平衡の関係性について学習する。

6	<p>4. 電解質水溶液の平衡</p> <p>5. 緩衝液と pH</p> <p>3章 無機物質</p> <p>2節 非金属元素</p> <p>1. 水素と希ガス(貴ガス)</p> <p>2. ハロゲンとその化合物</p> <p>3. 酸素, 硫黄とその化合物</p> <p>4. 窒素, リンとその化合物</p> <p>5. 炭素, ケイ素とその化合物 気体の捕集法・発生・乾燥剤</p> <p>1学期中間試験</p> <p>3節 金属元素</p> <p>1. アルカリ金属とその化合物</p> <p>2. 2族元素とその化合物</p> <p>3. 1, 2族以外の典型元素とその化合物</p> <p>4. 遷移元素とその化合物</p> <p>5. 金属イオンの分離と確認</p> <p>4章 有機化合物</p> <p>1節 有機化合物の分類と特徴</p> <p>1 有機化合物の特徴</p> <p>2 構造式の決定</p> <p>2節 脂肪族炭化水素</p> <p>1 飽和炭化水素</p> <p>2 不飽和炭化水素</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電離平衡と電離定数, 酸の電離定数, 塩基の電離定数, 電離度と電離定数を求める力を育成する。 ・水の電離平衡を理解し, pH の値を求める力を育成する。 ・塩の加水分解と水溶液の性質, 酢酸ナトリウムの加水分解, 塩化アンモニウムの加水分解を学習する。 ・緩衝作用とは何か理解する。 ・緩衝液と pH の関係を学習する。 ・難溶性塩の溶解と溶解度積, 溶解平衡と沈殿生成, 共通イオン効果, 溶解平衡と金属イオンの分離を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・周期表の構成と単体の性質について学習する。 ・各族(14, 15, 16, 17, 18族)の単体と代表的な化合物の性質について理解する。 ・代表的な気体の製法および性質について学習する。 ・工業的製法(接触法・ハーバーボッシュ法・オストワルト法)について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・各族(1, 2)の単体と遷移金属の代表的な単体とそれらの代表的な化合物の性質について理解する。 ・両性元素について学習する。 ・遷移元素の特徴について理解する。 ・金属イオンの定性反応を理解し, 混合溶液から分離した金属イオンを決定できる力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・アルカンの構造式を書き, 構造異性体を理解する。 ・アルカンの置換反応について学習する。 ・アルケンの構造式を書き, 幾何異性体を理解する。 ・アルケン, アルキンの付加反応について学習する。
	7	

	<p>3 節 酸素を含む脂肪族化合物</p> <p>1 アルコールとエーテル</p> <p>2 アルデヒドとケトン</p> <p>3 カルボン酸とエステル</p> <p>4 油脂とセッケン</p> <p style="text-align: center;">1 学期期末試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・官能基による有機化合物の分類が出来る力を育成する。 ・代表的な有機化合物を暗記して使えるようになる力を身につける。 ・アルコールを中心とした有機化合物の系統図が書ける力を身につける。 ・エステルの反応機構を理解する。 ・油脂の構造について学習する。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・インプレス化学ノート、ビーライン化学基礎・化学の該当範囲の提出 		
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(70%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 <p>② 学習態度等の平常点(30%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>基礎学力到達度テスト対策演習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力到達度テストの過去問やビーラインなどの演習問題を使用し演習を行い、実戦力を育成する。
	10	<p>4 節 芳香族化合物</p> <p>1 芳香族炭化水素</p> <p>2 酸素を含む芳香族化合物</p> <p>3 窒素を含む芳香族化合物</p> <p>4 混合物の分離</p> <p>5 節 有機化合物と人間生活</p> <p>1 エネルギーの利用</p> <p>2 洗剤</p> <p>3 染料と染色</p> <p>4 医薬品</p> <p style="text-align: center;">2 学期中間試験</p> <p>5 章 高分子化合物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンゼンを中心とする芳香族炭化水素の構造および性質、反応性について理解する。 ・フェノールを中心として芳香族化合物の性質や反応性について学習する。 ・芳香族化合物の混合物の分離について理解する。 ・炭水化物について学習する。 ・薬理作用、生薬、人工薬品としてのアスピリンについて理解する。 ・染料と顔料、天然染料と合成染料、アゾ染料について学習する。 ・界面活性剤と合成洗剤について理解する。

	11	1節 高分子化合物 1 高分子化合物の分類と特徴 2節 天然高分子化合物 1 糖 2 タンパク質 3 核酸 3節 合成高分子化合物 1 合成高分子化合物の分類 2 合成繊維 3 合成樹脂(プラスチック) 4 機能性高分子化合物 5 ゴム	<ul style="list-style-type: none"> ・有機高分子・無機高分子・天然高分子と合成高分子の違いなどについて学習する。 ・六炭糖と五炭糖、二糖類について学習する。 ・デンプン、グリコーゲンについて学習する。 ・アミノ酸の性質、反応について理解する。 ・タンパク質の種類、構造、反応について理解する。 ・核酸の構成について学習する。
	12	2学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・重合の種類について学習する。 ・縮合重合で得られる合成繊維について学習する。 ・プラスチックの分類について学習する。 ・天然ゴム、合成ゴムについて学習する。
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・夏季休業中の課題 ・インプレス化学ノート、ビーライン化学基礎・化学の該当範囲の提出 			
【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績(70%) <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点(30%) <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	4節 高分子化合物と人間生活 1 繊維 2 機能性高分子 3 資源の再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの廃棄処理について理解する。
【課題・提出物】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント 			
【第3学期の評価方法】 ① 学習態度等の平常点 <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の学習過程で評価の観点の4項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。 			
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の成績を総合して評価する。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。 ・講義式、実験式いずれの授業においても集中力を保つ。 ・授業で得た結果を基に発展的な興味をもって自主的活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・授業内容について科学的な捉え方ができる。 ・授業の成果をいかして社会や生活との関連を考えられる。 ・発展的な内容についても思考を展開させられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 ・操作の意味をよく理解し、実技のレベルが的確である。 ・実験結果に対する考察が十分であり、その内容を適切に伝達できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・授業ノート ・小テスト ・定期テスト
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・学んだ内容が関連付けて整理され定着している。 ・知識を用いて発展的な応用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・小テスト ・定期テスト

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、学習相談を実施するので、つまづいている箇所があれば早めに質問しにきてほしい。 ・基礎学力到達度テスト・共通テストに向けて、授業内でも過去問演習や問題の解説等の時間を作っていくので、高得点を目指せるように頑張ってください。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
生物	5	3 学年	I コース理系

教科書名 生物 (啓林館)

副教材名 スクエア最新図説 (第一学習社) セミナー生物 (第一学習社) 生物ノート (数研出版)

1. 科目目標

<p><u>1. 「生物」の面白さを知る</u></p> <p>「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを実感する。</p> <p><u>2. 学力をつける</u></p> <p>日本大学基礎学力到達度テスト、大学入学共通テスト、私立大学一般試験に対応できる学力を構築する。</p> <p><u>3. 客観的な視点を育む</u></p> <p>「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。</p>

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 5	第2部 生殖と発生 第3章 植物の生殖と発生 1. 被子植物の受精 2. 胚と種子形成 3. 植物の器官形成 1学期中間試験 [25時間]	植物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を理解する。
	6	第3部 生物の環境応答 第1章 刺激の受容と反応 1. 刺激の受容 2. 神経 3. 神経系 4. 効果器 第2章 動物の行動 1. 生得的行動 2. 学習行動 1学期期末試験 [20時間]	ニューロン(神経細胞)の基本的な構造とそのはたらきを理解する。次の、受容器で受け取られた刺激(情報)が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物(定期試験範囲、月別範囲)</p> <p>・問題集用ノートの点検</p>			
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績(80%) ② 学習態度等の平常点(20%)</p>			

月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	<p>9 基礎学力到達度テストに向けた演習</p> <p>第3章 植物の環境応答</p> <p>10 1. 植物の一生と植物ホルモン 2. 発芽と成長の環境応答 3. 花芽形成の環境応答 4. 花や果実の成長と老化 5. 光受容体と植物ホルモンのはたらき</p> <p>2学期中間試験 [25時間]</p> <p>第5部 生態と環境</p> <p>10 第1章 個体群と生物群集</p> <p>1. 個体群とその変動 2. 種内関係 3. 種間の関係 4. 生物群集と構造</p> <p>第2章 生態系</p> <p>1. 生態系と物質生産 2. 生態系と生物多様性</p> <p>第4部 生物の進化と系統</p> <p>11 第1章 生物の進化</p> <p>1. 生命の起源と生命の変遷 2. 生物界の変遷と地球環境の変化 3. 人類の起源と進化</p> <p>第2章 進化とそのしくみ</p> <p>1. 進化の証拠 2. 生物の変異と進化</p> <p>第3章 生物の系統</p> <p>12 1. 生物の分類と系統 2. 界とドメイン 3. 細菌ドメイン 4. 古細菌ドメイン 5. 真核ドメイン</p> <p>2学期期末試験 [30時間]</p>	<p>植物は成長を調節するなどして環境に応答していることを理解する、そのうえで、環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。</p> <p>個体群や生物群集について、それぞれの特徴を学習する。特にそれぞれの個体群は、生態系内で特定の役割を果たしていることを理解する。また、生態系における物質生産についても学習する。さらに、生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識させる。</p> <p>生命の起源および生物の変遷を学習する。その際、生命の誕生や生物の変遷は、地球環境の変化と密接に関係していることを理解する。</p> <p>生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解する。その際、形態的な特徴にもとづいた分類ばかりでなく、近年では、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列などの分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても学ぶ。</p>
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する演習プリント ・夏季休業中の課題 ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲） ・問題集用ノートの点検 		
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績 (80%) ② 学習態度等の平常点 (20%)</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	地球大進化 (DVD) 3 学期授業時間 [6 時間] 年間実授業時間 [1 0 6 時間]	地球の誕生から人類の繁栄までを映像で学習し、我々はどうのように進化して現在の形態や生活様式を獲得してきたのか、その過程について理解を深める。
	【課題・提出物】 ・地球大進化に関するレポート		
	【第3学期の評価方法】 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、評価の観点の4項目について評価する。 ・地球大進化に関するレポートの成績を評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】 ①定期試験の成績 (80%) ②平常点 (20%)			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	・授業時の様子 ・授業ノート
思考・判断	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。	・授業時の様子 ・授業ノート ・定期テスト
技能・表現	・科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。また、それを表現することができる。	・授業時の様子 ・定期テスト
知識・理解	・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。	・小テスト ・定期テスト

4. 学習サポート (事前・事後学習等について)

<ul style="list-style-type: none"> ・随時、学習相談を実施していますので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。 ・基礎学力到達度テスト・大学入学共通テストに向けて、授業内でも過去問演習や問題の解説等の時間を作っていきます。
